

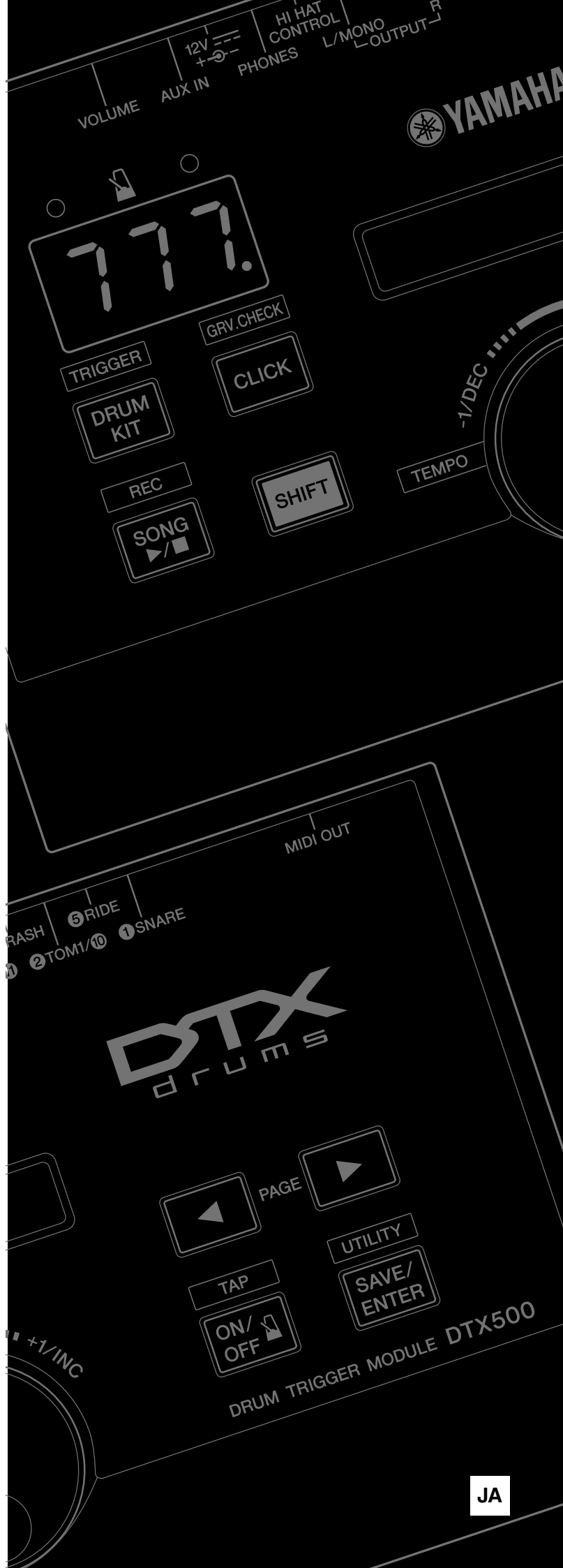


DTX
drums

DRUM TRIGGER MODULE

DTX500

取扱説明書



安全上のご注意




ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

| | |
|---|-------------------------|
|  | 「ご注意ください」という注意喚起を示します。 |
|  | ～しないでくださいという「禁止」を示します。 |
|  | 「必ず実行」してくださいという強制を示します。 |

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

電源 / 電源アダプター



電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

禁止 電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



電源は必ず交流 100V を使用する。
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターは、必ず指定のもの (47 ページ) を使用する。

必ず実行 異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

必ず実行

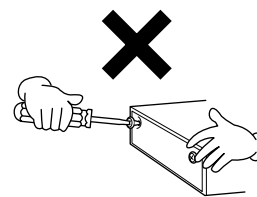
分解禁止



この製品の内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。

禁止



水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

禁止

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上でろうそくなど火気のあるものを置かない。ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおい煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源アダプター



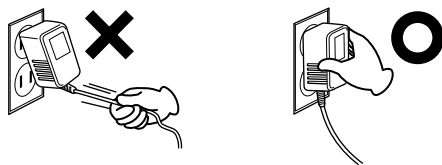
禁止

たこ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。

設置



禁止

不安定な場所に置かない。
本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

指定のラックを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

接続



すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

必ず実行 感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

必ず実行 聴力障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本体の上にとったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害の原因になります。



- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

電源スイッチを切った状態（電源スイッチが「STANDBY」の状態）でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注記（ご使用上の注意）

製品の故障や損傷、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱い / お手入れに関する注意

- ・ テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- ・ 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。
- ・ 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。

■ データの保存に関する注意

- ・ フラッシュ ROM への書き込み中（画面に「now storing...」と表示されます）に、絶対に電源を切らないでください。ユーザーメモリー上のデータが失われたりシステムデータが壊れたりして、次に電源を入れたときに正常に起動しなくなるおそれがあります。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- ・ ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDI データ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を超えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびは、ヤマハDTX500をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

DTX500は、高品位でバリエーション豊かなドラムボイスを備え、パッドコントローラー付スネアパッドにも対応したコンパクトなドラムトリガーモジュールです。バラエティに富んだリズムを揃えたプリセットソングに加え、自分の演奏を録音することもできるソング機能、リズム感を養うグルーブチェック機能、多機能メトロノームの搭載など、アンサンブル力を磨くためのトレーニング用機能も充実しています。

DTX500の優れた機能を十分にご活用いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。また、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管いただきますようお願いいたします。

付属品 (お確かめください)

- 電源アダプター
- モジュールホルダー
- モジュールホルダー止めネジ：2本
- 取扱説明書(本書)
- 保証書

表記上の決まり

- | | |
|---------------------------|--|
| ・ [DRUM KIT]、[CLICK] など | パネル上のボタンは、[]で囲んで表します。 |
| ・ [SHIFT] + [DRUM KIT] など | [SHIFT] ボタンを押しながら [DRUM KIT] ボタンを押すことを意味します。 |
| ・ [◀]/[▶] など | [◀] ボタンまたは [▶] ボタンを使うことを意味します。 |
| ・ “Completed!” など | LCDディスプレイ (画面) に表示される文字は、“ ” で囲んで表します。 |

■ パッドについて

この取扱説明書では、DTX500 に接続できるパッドの品番を掲載していますが、これらは本書制作時点での最新品番です。その後発売された最新品番については、下記ページでご確認いただけますよう、お願いします。

<http://www.yamaha.co.jp/product/drum/ed>

DTX500の特長

DTX500は、コンパクトなボディにドラムトリガー機能、リアルで高音質な32音ポリフォニック音源、高機能メトロノーム、さまざまなジャンルのソングを内蔵したスーパーユニットです。

ライブパフォーマンスに、トレーニング用に、幅広くお使いいただけます。

* トリガーとは、電子ドラムやアコースティックドラムのパッドを叩いた強さを、音源モジュールに電子的に伝えることを指します。DTX500はこのドラムトリガー信号をトリガー入力端子経由で受け、内蔵のドラムボイス(打楽器音)を鳴らします。

■ドラムトリガー機能

- ・新開発のXPシリーズに対応しました。
- ・12個のトリガー入力に対応した端子群とハイハットコントローラー端子を装備。2ゾーンパッド、3ゾーンパッド(叩く位置によって違うトリガー信号を送信するパッド)に対応した端子も装備、さらにスネア用端子はパッドコントローラーにも対応しています。アコースティックのスネアドラムと同様の感覚でスナッピーの調節やチューニングができるなど、アコースティックドラムに遜色ない操作性と演奏性を実現しました。
- ・ヤマハドラムトリガー DT20などを使えば、アコースティックドラムに接続することもできます。
- ・プレイヤーの演奏スタイルやセットアップに合わせて、パッドのトリガー入力タイプや感度などのセットアップデータをカスタマイズすることができます。
- ・アコースティックキットはもちろん、ロック、ファンク、ジャズ、レゲエ、ラテンパーカッションなど、さまざまなジャンルに対応したドラムキット(個々の打楽器音のセット)を50種類プリセットで内蔵。また、豊富なドラムボイスを使ってオリジナルのドラムキットをセットアップできるユーザーキット用メモリーも20セット分用意されています。

■音源部

- ・32音ポリフォニックの高品位16ビットAWM2 (PCM)音源が、リアルで高音質なサウンドを生み出します。
- ・アコースティックドラムからパーカッション、効果音など、バリエーション豊かなドラムボイスを427音色内蔵。
- ・内蔵エフェクトには、高品位なデジタルリバーブを採用。

■高機能メトロノーム

- ・音符の種類ごとに細かくクリックを設定できるメトロノームを搭載。クリック音ごとに音色やチューニングを自由に設定できます。またタイマーでクリックの動作時間を決めたり、ブレイクを設定したりすることもできます。
- ・パッドを叩くタイミングでソングやクリックのテンポを設定する“タップ機能”も装備。あなたの感覚でソングやクリックのテンポを設定することができます。

■シーケンサー機能

- ・さまざまなジャンルのソングを63曲内蔵。ドラムパートをミュートして曲に合わせてバンド気分でプレイしたり、ベースのみを再生(ベースソロ機能)しての練習など、トレーニングの強い味方となる機能を備えています。
- ・自分の演奏データをリアルタイム録音することができます。自分の演奏データを再生させながら、演奏することもできます。
- ・パネルからコントロールできるメインのソング1曲に加え、トリガー入力により独立してコントロールできるパッドソングを3曲同時に再生させることができます。

■グループチェック機能

- ・パッドを叩くタイミングの正確さをチェックするグループチェック機能を搭載。正確なショットのみを発音するリズムゲート機能や、ショットの正確さを自動評価しレベルを自動設定するチャレンジモードなど、ゲーム感覚でショットのトレーニングができます。

■インターフェース

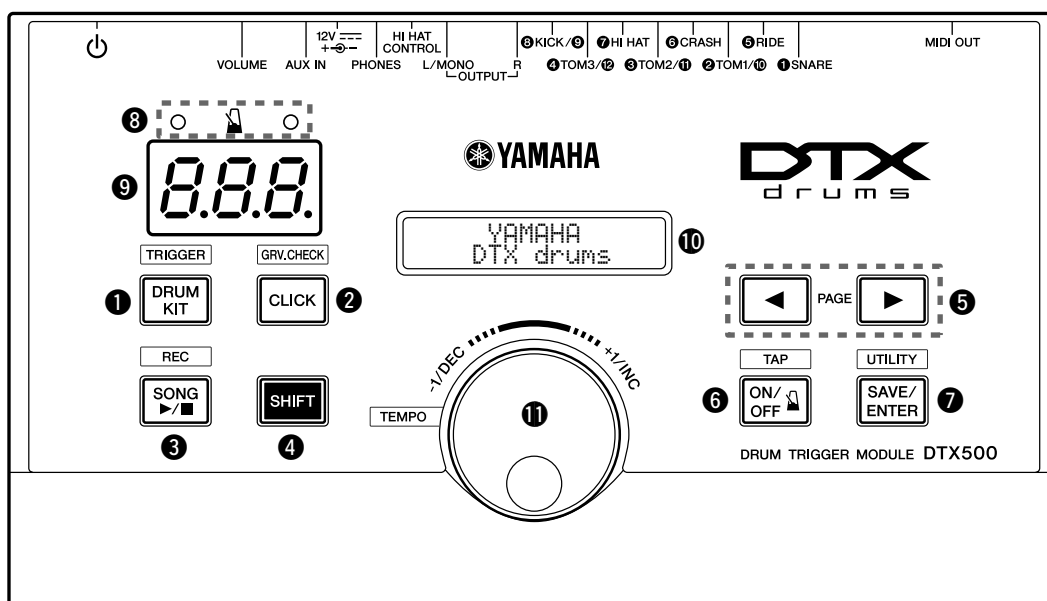
- ・MIDI OUT端子を装備。外部音源を鳴らしたり、外部シーケンサーを同期させることができます。
- ・AUX IN端子を装備。CDプレーヤーなどを接続して、CDの音楽に合わせて演奏することができます。
- ・ヘッドフォン端子を装備。外部に音を出さずに練習することができます。

目次

| | | | |
|--------------------------|----|----------------------------|----|
| はじめに | 5 | 5 グループチェック機能を使ってみよう！ | 22 |
| 付属品（お確かめください） | 5 | グループチェックのモード | 22 |
| 表記上の決まり | 5 | 6 演奏を録音してみよう！ | 24 |
| DTX500の特長 | 6 | 録音のしくみ | 24 |
| 各部の名称と機能 | 8 | 7 自分だけのドラムキットを作ろう！ | 26 |
| トップパネル | 8 | ファクトリーセット | 33 |
| リアパネル | 9 | 8 トリガーセットアップの設定 | 34 |
| 1 音を出す準備（接続） | 10 | トリガーセットアップの設定手順 | 34 |
| 1 パッドの接続 | 10 | 各設定画面の説明 | 35 |
| アコースティックドラムを接続するには | 10 | エラーメッセージ一覧 | 38 |
| 2 電源の準備 | 10 | 困ったときは | 38 |
| 3 スピーカーやヘッドフォンの接続 | 10 | 索引 | 40 |
| 4 電源を入れる | 11 | 資料 | 41 |
| 5 トリガーセットアップの切り替え | 12 | LCDディスプレイ（画面）一覧 | 41 |
| 2 DTX500を叩いてみよう！ | 13 | MIDIインプリメンテーションチャート | 44 |
| ハイハットの調整 | 14 | ドラムボイスリスト | 45 |
| パッドコントローラーの設定 | 15 | プリセットドラムキットリスト | 46 |
| 3 クリックに合わせて演奏しよう！ | 16 | プリセットソングリスト | 46 |
| クリックアウトセレクト | 18 | 仕様 | 47 |
| タップテンポ機能 | 19 | MIDIデータフォーマット | 47 |
| LEDディスプレイの表示設定 | 19 | | |
| 4 ソングと一緒に演奏してみよう！ | 20 | | |
| パッドファンクションの設定 | 21 | | |

各部の名称と機能

トップパネル



① ドラムキットボタン(DRUM KIT)

- ・ドラムキットの選択画面に入ります。(13ページ)
- ・[SHIFT]を押しながら[DRUM KIT]を押すと、トリガーセットアップの選択画面に入ります。(12ページ)
- ・現在発音中の音を強制的に止めます。

② クリックボタン(CLICK)

- ・クリック(メトロノーム)の設定画面に入ります。(16ページ)
- ・[SHIFT]を押しながら[CLICK]を押すと、グループチェックの設定画面に入ります。(22ページ)

③ ソングボタン(SONG ▶/■)

- ・ソングの選択画面に入ります。(20ページ)
- ・[SHIFT]を押しながら[SONG ▶/■]を押すと、ソング録音のスタンバイ状態になります。
- ・ソング再生または録音のスタート/ストップを行いません。

④ シフトボタン(SHIFT)

このボタンを押しながら各ボタンを押すことにより、各ボタンの上側に印刷された機能を使えます。

⑤ セレクトボタン(◀、▶)

- ・このボタンを押して設定する項目を選択(点滅表示)します。表示ページの前後にも項目がある場合は、ページを移動して表示します。ボタンを押し続けると、点滅位置が連続して移動します。
- ・このボタン2つを同時に押すことで、ページ単位で移動できます。[◀]を押しながら[▶]を押すと前のページに戻り、[▶]を押しながら[◀]を押すと後ろのページに移動します。
- ・[SHIFT]を押しながら[◀]/[▶]を押すことにより、設定の対象となるパッドを指定できます。

⑥ クリックON/OFFボタン(🔊 ON/OFF)

- ・クリック(メトロノーム)のスタート/ストップを行いません。(16ページ)
- ・[SHIFT]を押しながら[🔊 ON/OFF]を押すと、タップテンポの設定画面に入ります。(19ページ)

⑦ セーブ/エンターボタン(SAVE/ENTER)

- ・データの保存(セーブ)や操作の実行(エンター)を行いません。
- ・[SHIFT]を押しながら[SAVE/ENTER]を押すと、DTX500全体の設定を行なうユーティリティ画面に入ります。

⑧ クリックランプ

クリック(メトロノーム)やソングの小節先頭のタイミングで赤のランプが点灯し、それ以外のタイミングで緑のランプが点灯します。

⑨ LEDディスプレイ

設定に応じて、テンポ、モードに応じた番号、クリックタイマーを表示します。(19ページ)

⑩ LCDディスプレイ(画面)

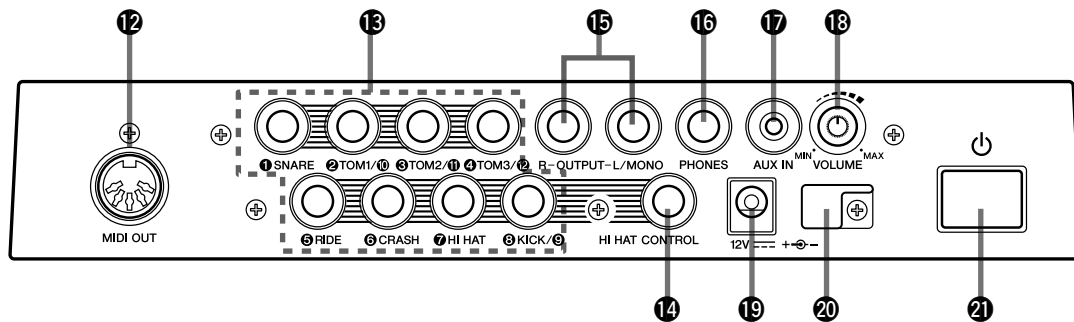
DTX500を操作していく上で必要な情報やデータが表示されます。

⑪ ジョグダイヤル

画面上で点滅している項目(設定対象)のデータを変更します。右方向(時計方向)に回すと数値増加、左方向で減少します。また、レイヤー(A/B)の切り替えやドラムミュートも、このジョグダイヤルを回して切り替えます。

[SHIFT]を押しながら回すと、現在のテンポの値を変更できます。

リアパネル

**12 MIDI OUT端子**

DTX500のデータを外部のMIDI機器に送信するための端子です。DTX500の演奏を外部の音源で鳴らしたり、DTX500のソングやクリックに同期させて外部のシーケンサーを再生させたりすることができます。(11ページ)

13 トリガー入力端子(① SNARE～⑧ KICK/⑨)

パッドやドラムトリガー(ヤマハDT20など)からのケーブルを接続するための端子で、トリガー信号を受信します。

スネア、タムなど、パネルに書かれたパッドを接続します。(10ページ)

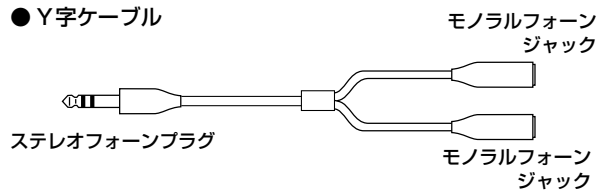
① SNARE.....3ゾーンパッド、パッドコントローラーに対応。

② TOM1/⑩、③ TOM2/⑪、④ TOM3/⑫、⑧ KICK/⑨

.....モノラル×2インプット仕様。Y字ケーブル(ステレオプラグ→モノラルジャック×2：下図参照)を使用することで、⑨、⑩、⑪、⑫のトリガー入力(モノラルパッド)が使用できます。またキックパッドKP125W/125/65をステレオケーブルで接続した場合も、KP125W/125/65の外部入力端子を⑨、⑩、⑪、⑫番の入力として使用できます。

⑤ RIDE、⑥ CRASH.....3ゾーンパッドに対応。

⑦ HI HAT.....ステレオ(スイッチ付)パッドに対応。

● Y字ケーブル**14 ハイハットコントロール端子(HI HAT CONTROL)**

ハイハットコントローラーを接続する端子です。

* 接続には、ステレオフォンプラグ付ケーブル(下図)が必要です。

**15 出力端子(OUTPUT L/MONO、R)**

外部アンプやミキサーなどへ接続する端子です。モノラルで出力する場合はL/MONO端子を使用し、ステレオで出力する場合はL/R両方の端子に接続します。(10ページ)

16 ヘッドフォン端子(PHONES)

ヘッドフォンを使用するときに接続する端子です。(10ページ)

17 AUX IN端子

外部のオーディオ機器などの出力をこの端子(ステレオミニジャック)に接続します。(11ページ)

CDプレーヤーなどの出力を接続して、CDの音楽に合わせて演奏することができます。

* 本体との音量バランスは、CDプレーヤーなどの出力機器側のボリュームで調整してください。

18 マスターボリューム(VOLUME)

DTX500全体の音量(OUTPUT端子およびPHONES端子の出力)を調節します。時計方向に回すと音量が大きくなり、反対方向で小さくなります。

19 DC IN端子(12V)

付属の電源アダプターを接続します。電源アダプターが抜け落ちないように、コードをコードフック⑳に巻き付けておいてください。

20 コードフック

誤ってコードが抜け落ちないためにコードを巻き付けておく場所です。(10ページ)

21 電源スイッチ

本機の電源スイッチです。スイッチを押して電源を入れます。

スイッチがオン(■)の場合電源が入っています。スタンバイ(■)の場合電源が切れています。

音を出す準備(接続)

この章では、DTX500を使う前に必要となる基本設定について説明します。以下の手順に従って音を出す準備をしてください。1 パッドの接続→2 電源の準備(10ページ)→3 スピーカーやヘッドフォンの接続(10ページ)→4 電源を入れる(11ページ)→5 トリガーセットアップの切り替え(12ページ)

!! 必ず実行してください !!

使用するパッドセットに応じて、DTX500本体のトリガーセットアップを切り替える必要があります。設定が適正でない場合、正常に発音しない、パッド間の音量バランスが悪いなどの問題が発生することがあります。設定の手順は『トリガーセットアップの切り替え』(12ページ)をご覧ください。

1 パッドの接続

下の図を参考に、各パッドからの出力ケーブルをDTX500リアパネルの各トリガー入力端子へ接続します。

詳しくは、パッドセットに付属の組立説明書をご覧ください。

⚠ 注意


- DTX500の入出力端子にケーブルを接続する際は、感電と機器の損傷を防ぐため、必ずDTX500および各機器の電源を切った状態で行なってください。

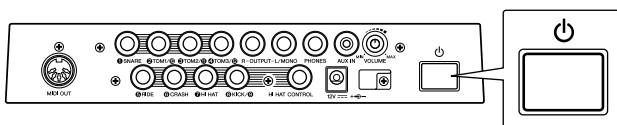
アコースティックドラムを接続するには

別売のヤマハドラムトリガー DT20などをアコースティックドラムに装着し、ドラムトリガーからの出力ケーブルをDTX500の各トリガー入力端子へ接続することで、アコースティックドラムをDTX500の入力パッドとして使うことができます。

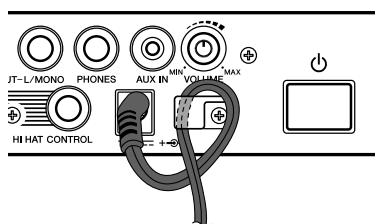
2 電源の準備

DTX500は、専用電源アダプターで動作します。

2-1. 本体の  スタンバイ / オンスイッチがスタンバイ (■) になっていることを確認します。



2-2. 付属の電源アダプターのDCプラグを、リアパネルのDC IN端子に差し込みます。電源アダプターのコードが抜け落ちないようにコードフックに巻き付けて固定します。



⚠ 注意

- コードフックに巻き付ける際、電源アダプターのコードを極端に折り曲げないでください。コードの断線や発火の原因となります。

2-3. 電源アダプターのもう一端のプラグを家庭用(AC100V)コンセントに差し込みます。

⚠ 警告

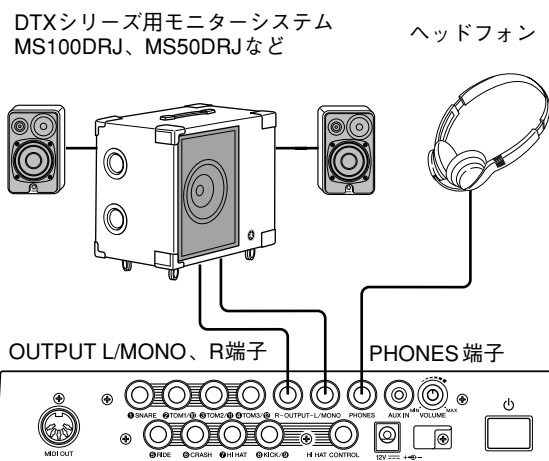
- 電源アダプターは必ず指定のものをご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると故障、発熱、火災などの原因となります。
- 誤ってエアコン用などの200Vのコンセントに接続しないようにご注意ください。

⚠ 注意

- 長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

3 スピーカーやヘッドフォンの接続

DTX500にはスピーカーが内蔵されていません。音を出すためには、外部アンプ+スピーカー、ヘッドフォンなどを接続してください。

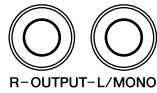


注記

- ・接続には、それぞれの機器の端子形状に適合したプラグを持つケーブルをお使いください。

● OUTPUT L/MONO、R端子 (標準モノラルフォーンジャック)

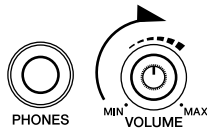
外部アンプ+スピーカーを接続して音量を大きくして鳴らしたり、録音機器を接続して演奏を録音したりすることができます。



- * モノラル入力の機器を接続する場合は、DTX500のOUTPUT L/MONO側端子と接続してください。

● PHONES端子(標準ステレオフォーンジャック)

ヘッドフォンの音量はリアパネルのVOLUMEつまみで調節します。



⚠ 注意

- ・ヘッドフォンをご使用の場合は、大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

● AUX IN端子(ステレオミニフォーンジャック)

AUX IN端子に接続したMP3プレーヤーやCDプレーヤーの出力を、DTX500のサウンドにミックスしてOUTPUT端子やPHONES端子に出力することができます。好きな曲と一緒に演奏するときに便利です。



- * DTX500本体との音量バランスは、MP3プレーヤーなどの出力側ボリュームで調整します。

● MIDI OUT端子

MIDIの機能を使って、DTX500の演奏を外部の音源で鳴らしたり、DTX500のソングやクリックに同期させて外部のシーケンサーを再生させたりすることができます。

MIDI(ミディ)とは

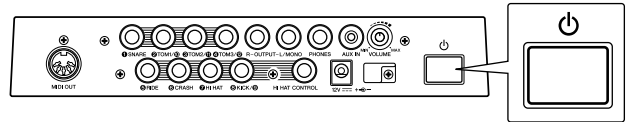
MIDI(ミディ)とは、Musical Instruments Digital Interfaceの略称で、楽器やコンピューターを接続して演奏情報や音色情報などをやりとりするために作られた、世界統一の規格です。この規格に準拠した楽器やコンピューターであれば、メーカーや楽器の種類が違っててもデータをやりとりすることができます。



- * MIDIケーブルはMIDI規格のものをお使いください。また、MIDIケーブルは15mが限度とされています。これ以上長いケーブルの使用は、誤動作などトラブルの原因となります。

4 電源を入れる

- 4-1. 接続が完了したら、本体リアパネルのVOLUMEを左いっぱい(音量最小)に絞り、外部機器の音量が0になっていることを確認します。
- 4-2. 本体の スタンバイ/オンスイッチを押してオン(■)にしてから、次にアンプの電源を入れます。



- 4-3. 電源を切るときは、もう一度 スタンバイ/オンスイッチを押してスタンバイ(■)にします。

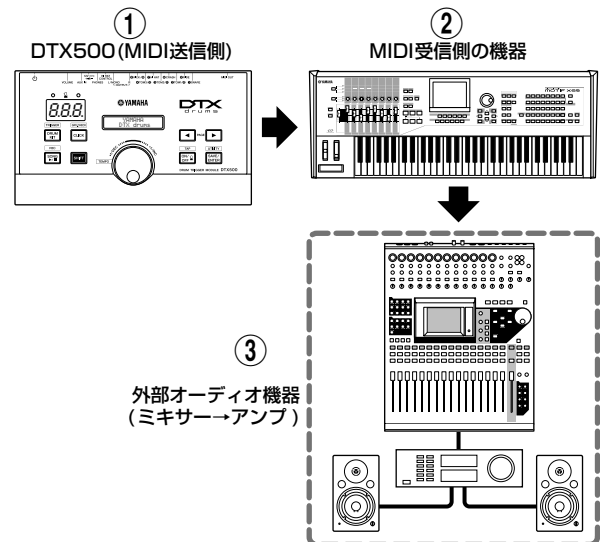
⚠ 注意

- ・ スタンバイ/オンスイッチを切った状態でも微電流が流れています。DTX500を長時間使用しないときは必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

● ミキサーやMIDI機器などを接続している場合

すべての機器のボリュームが0になっていることを確認して、①MIDI送信側の機器→②MIDI受信側の機器→③外部オーディオ機器(ミキサー→アンプ)の順で電源を入れてください。

また、電源を切る場合は外部オーディオ機器のボリュームを下げ、逆の手順で切ってください。

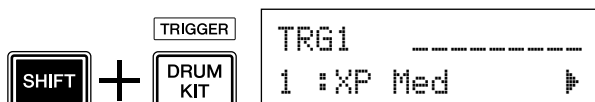


5 トリガーセットアップの切り替え

使用するパッドのトリガー出力レベルや機能に合わせて、各端子ごとに適正な設定にする必要があります。**接続しているパッドセットに合ったトリガーセットアップに切り替えてください。**
切り替えの手順は以下のとおりです。

● 設定手順

5-1. [SHIFT] + [DRUM KIT]を押して、トリガーセットアップ画面の1ページめを表示させます。



5-2. ジョグダイヤルを回して、使用するパッドセットに合ったトリガーセットアップを選択します。



NOTE

- お手持ちのセット以外のパッドを接続したり、クロストークを解消したいときなど、個々のパッドごとに詳細な設定をしたい場合は、上記の設定後『トリガーセットアップの設定』(34ページ)の手順をご覧ください。また、設定した内容はユーザートリガーセットアップとして保存することができます。

● パッドの接続に関するヒント

- 接続しているパッドセットに合ったトリガーセットアップを選択している場合は、DTX500側で最適な内部設定がされていますが、特性の異なるパッドやドラムトリガー(ヤマハDT20など)を接続した場合は、感度などの設定を行なう必要があります。感度の設定はトリガーセットアップ画面3ページ目「TRG3 Gain (ゲイン)」(36ページ)で行ないます。
- ①SNARE端子には、XP100SD、TP100などのパッドコントローラー付きパッドを接続できます。
- ⑤RIDE、⑥CRASH端子には、TP65S、PCY155/150S、PCY135/130SCなどの3ゾーンパッドを接続できます。
- ⑦HI HAT端子はステレオ入力に対応しています。TP65S、PCY65S、PCY130Sなどのスイッチ付きパッドも接続できます。
- ②TOM1/⑩、③TOM2/⑪、④TOM3/⑫端子は、ステレオジャックのLとRを使って2つのトリガー入力に対応しています。Y字ケーブル(ステレオプラグ→モノラルジャック×2)を使用すれば、2つのトリガー信号を入力することが可能です。
- ⑧KICK/⑨端子は、ステレオジャックのLとRを使って2つのトリガー入力に対応しています。平行ケーブル(ステレオプラグ→モノラルジャック×2)を使用すれば、2つのトリガー信号を入力することが可能です。また、キックパッドKP125W/125/65をステレオケーブルで接続することにより、KP125W/125/65の外部入力端子を9番の入力として使うことができます。
- ⑧KICK/⑨端子に加えて②TOM1/⑩、③TOM2/⑪、④TOM3/⑫端子のいずれかにキックペダルを接続して、2バスドラムのドラムセットを組むこともできます。

・トリガーセットアップ一覧

| No. | Name | | 特長 |
|-----|----------|---------------------------|---|
| 1 | XP Med | | 基本的なバランスの設定 |
| 2 | XP Dyna | XPシリーズを含むパッドセット用 | ダイナミックレンジが広く強弱の表現に適している設定。振動が強すぎるとクロストーク(他のパッドが鳴ってしまう)を起こす可能性があります。 |
| 3 | SP Med | DTXPRESS IV スペシャルセット用 | 基本的なバランスの設定 |
| 4 | SP Dyna | | ダイナミックレンジが広く強弱の表現に適している設定。振動が強すぎるとクロストーク(他のパッドが鳴ってしまう)を起こす可能性があります。 |
| 5 | STD Med | DTXPRESS IV スタンダードセット用 | 基本的なバランスの設定 |
| 6 | STD Dyna | | ダイナミックレンジが広く強弱の表現に適している設定。振動が強すぎるとクロストーク(他のパッドが鳴ってしまう)を起こす可能性があります。 |
| 7 | DT10/20 | — | DT10/20をドラムセットに装着して使用する場合の設定 |
| 8 | UserTrig | — | トリガーセットアップを自由に変更できます。 (「トリガーセットアップの設定」(34ページ)参照) |
| 11 | | | |

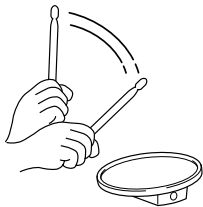
* 初期設定では、「1: XP Med」が選ばれています。

2 DTX500を叩いてみよう！

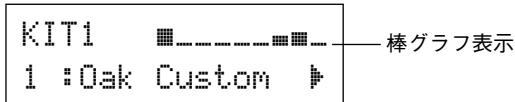
接続を終わりDTX500を目の前にしてウズウズしているあなた！
 それでは、パッドを叩いてDTX500のサウンドを聞いてみましょう。

1 DTX500を叩いてみよう

パッドを叩きながらリアパネルのVOLUMEつまみを少しずつ回していき、全体の音量を好みの大きさに調節しましょう。



パッドを叩くと、そのパッドの入力レベルが画面上段右に棒グラフ表示されます。棒グラフはそれぞれ以下の入力端子の入力レベルを表します。

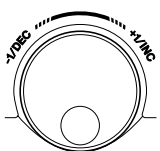


| 棒グラフ(左から) | 表示される入力端子 |
|-----------|-----------|
| 1 | ① SNARE |
| 2 | ② TOM1/⑩ |
| 3 | ③ TOM2/⑪ |
| 4 | ④ TOM3/⑫ |
| 5 | ⑤ RIDE |
| 6 | ⑥ CRASH |
| 7 | ⑦ HI HAT |
| 8 | ⑧ KICK |
| 9 | ⑨ PAD ⑨ |

2 ドラムキットを変えてみよう

各パッドを叩いたときに鳴る打楽器音(ドラムボイス)をセットにしたものを、ドラムキットと呼びます。ドラムキット1~50を切り替えて、ドラムセットのバリエーションを楽しんでください。

* 『プリセットドラムキットリスト』(46ページ)
 ジョグダイヤルを回してドラムキットを選びます。



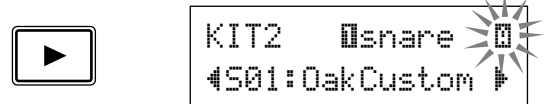
いろいろなドラムキットを試してみて、気に入ったドラムキットを選んでください。

* ドラムキットの中には、パッドを叩くと自動的に曲が始まるもの(パッドソング)や、ドラムループ音色が設定されているものがあります。

3 パッドごとに音量を変えてみよう

パッドごとの音量を調節してドラムキット全体の音量バランスを調整しましょう。

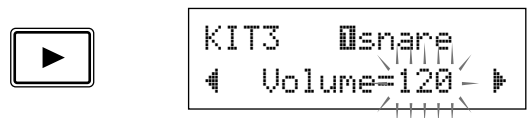
まず前記ドラムキットの選択画面で[▶]を1回押します。以下のような画面表示になり、“■”が点滅します。



もう1回[▶]を押すと、“S01:OakCustom”の先頭の“S”が点滅します。



さらに2回[▶]を押すと、KIT3のページが表示されます。



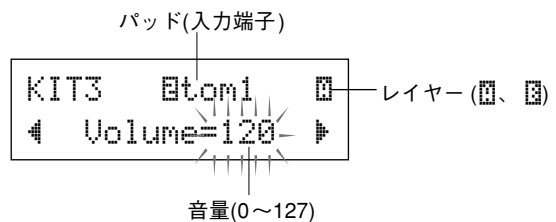
このように、本機では[◀]/[▶]を押して設定する項目(点滅表示)を選びます。1ページ中に設定項目が1つしかない場合は、[◀]/[▶]を押すと前/次ページに移動します。

* 画面下段右端の“▶”マークは、次ページがあることを表します。同様に下段左端の“◀”マークは、前ページがあることを表します。

上記KIT3の画面を表示させた状態で、音量を調整したいパッドを叩きます。選択されたパッド(入力端子)が画面上段に表示されます。

ジョグダイヤルを回して、そのパッドの音量(値が点滅)を調節します。

* 楽器音の中には、パッドを叩いたときに2種類の楽器音が同時に鳴るもの(2レイヤーボイスといいます)があります。2レイヤーボイスの場合は、画面上段右端の[■]、[■]表示を切り替え([◀M▶])でマークを点滅させ、ジョグダイヤルで切り替え)てから、それぞれの音量を調節します。



注記

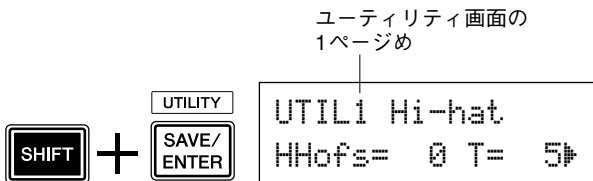
- 音量的設定を変更すると、“KIT3”表示のあとに“*”が表示されます。これはデータが変更されたことを示しています。セーブ操作(32ページ)を実行するとこの表示は消えます。セーブ操作をせずに他のドラムキットに切り替えるなどすると、現在の設定内容は元に戻ってしまいます。残しておきたいデータはセーブしておきましょう。



4 音質を調整しよう

出力音の音質は、ユーティリティ画面の5ページ目「マスターイコライザー」の設定画面で行ないます。ユーティリティ画面では、DTX500全体に関する設定を行ないます。

まず[SHIFT]+[SAVE/ENTER]を押して、ユーティリティ画面を表示させます。

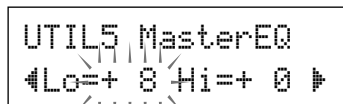
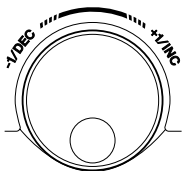


[▶]を5回押してページを移動し、ユーティリティ画面の5ページ目を表示させます。



このマスターイコライザー(2バンドシェルピングタイプ)の設定画面で、音質を調整します。

“Lo=”が低域ゲイン(+0dB~+12dB)の設定、“Hi=”が高域ゲイン(+0dB~+12dB)の設定です。[◀]/[▶]で設定する項目を選び(点滅表示)、ジョグダイヤルを回して値を設定します。



さらに、パッドごとの楽器音、チューニング、リバーブのタイプやかかり具合など、細かな設定も可能です。(26ページ)

ハイハットの調整

ハイハットペダル(フットコントローラー)をどのくらい踏み込んだときにハイハットがクローズになるかを、調整することができます。また、フットブラッシュの出しやすさを調整することもできます。

* この設定は、HI HAT CONTROL 端子に接続したフットコントローラーに対してのみ有効です。HI HAT CONTROL 端子以外の端子に接続したフットコントローラーに対しては無効です。

● 設定手順

- [SHIFT]+[SAVE/ENTER]を押して、ユーティリティ画面の1ページ目を表示させます。

この画面でハイハットの調整を行ないます。



- ハイハットのクローズポイントを調整する場合は“HHofs=”の数値部分を点滅させ、ジョグダイヤルを回して調整します。

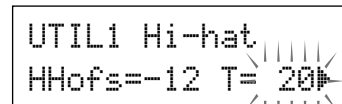
設定範囲は-32~0~+32です。値が小さいほど踏み込みが浅いポイントでクローズします。



フットブラッシュの出しやすさを調整する場合は“T=”の数値部分を点滅させ、ジョグダイヤルを回して調整します。

設定範囲はoff、1~127です。値が大きいほどフットブラッシュの検出時間が長くなり、フットブラッシュが出しやすくなります。offに設定した場合、フットブラッシュは出ません。

* 値を大きくしすぎると、連続して踏んでいる場合に誤ってブラッシュ音が出やすくなります。



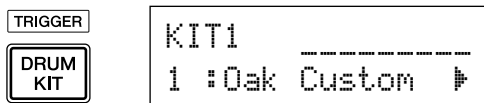
パッドコントローラーの設定

パッドコントローラー付きパッド(XP100SDなど)を接続した場合、パッドコントローラーを回すことでスナッピーの調節、チューニング、テンポ変更のいずれかを行なうことができます。

● 設定手順

初期設定ではスネア用パッド(XP100SD)のパッドコントローラーでスナッピーの調節を行なうことができます。スナッピー調節以外の機能にするには、以下の手順で機能を変更します。

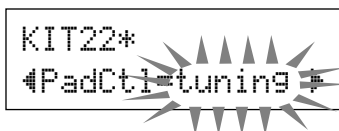
1. [DRUM KIT]を押してドラムキット画面を表示させます。



2. 次に[▶]を押し続けてドラムキット画面の22ページめを表示させます。

3. ジョグダイヤルを回して“PadCtl=”の設定を切り替えます。設定できる機能は以下のとおりです。

off機能なし
 snares.....スナッピーの張り具合の調整(オープンリム音にも効果)
 tuning.....チューニングの調整(オープンリム音にも効果)
 tempo.....テンポの調整



注記

- 設定を変更すると、“KIT22”表示のあとに“*”が表示されます。これはデータが変更されたことを示しています。セーブ操作(32ページ)を実行するとこの表示は消えます。セーブ操作をせずに他のドラムキットに切り替えたり電源を切るなどすると、現在の設定内容は元に戻ってしまいます。残しておきたいデータはセーブしておきましょう。

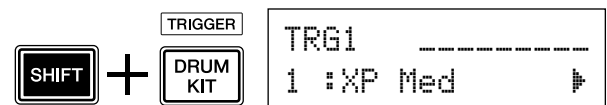
● 設定手順(パッドコントローラー付きパッドに交換する場合)

ここではパッドコントローラー付きパッド(XP100SD)をスネアパッドとして使用する場合を例に説明します。

1. XP100SDとDTX500のトリガー入力端子① SNAREを接続します。

* ① SNARE以外のトリガー入力端子は、パッドコントローラー付きパッドに対応していません。① SNARE以外のトリガー入力端子に接続しても、パッドコントローラーは機能しません。

2. [SHIFT]+[DRUM KIT]を押してトリガーセットアップ画面を表示させます。



3. 次に[▶]を1回押して下記の画面(パッドタイプ)を表示させます。

スネアパッドを叩いて上段に“Snare”を表示させたら、ジョグダイヤルを回して“Type=SN-1”に設定します。



注記

- 設定を変更すると、“TRG2”表示のあとに“*”が表示されます。これはデータが変更されたことを示しています。セーブ操作(34ページ)を実行するとこの表示は消えます。セーブ操作をせずに他のトリガーセットアップに切り替えたり電源を切るなどすると、現在の設定内容は元に戻ってしまいます。接続したパッドを次回もお使いになるならば、必ずセーブしておきましょう。



4. これでパッドコントローラー付きパッドを使う準備ができました。

パッドコントローラーで何を調整するかは、左記『設定手順』と同様の手順で設定します。

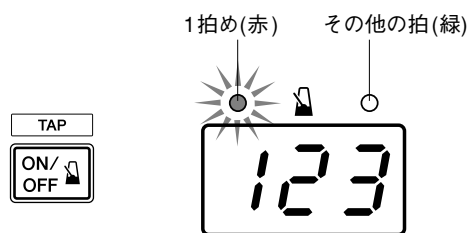
3 クリックに合わせて演奏しよう！

クリック(メトロノーム)を鳴らしながら、DTX500を演奏してみましょう。
DTX500のメトロノームは複雑なリズムも設定できる高度なメトロノームです。

1 クリック(メトロノーム)を鳴らしてみよう

[ ON/OFF]を押すとクリック音がスタートします。小節先頭のクリックのタイミングで左側のランプが赤く点灯し、それ以外のタイミングで右側のランプが緑に点灯します。また、クリックのテンポ(♩)がLEDディスプレイに表示されます。もう一度[ ON/OFF]を押すと停止します。

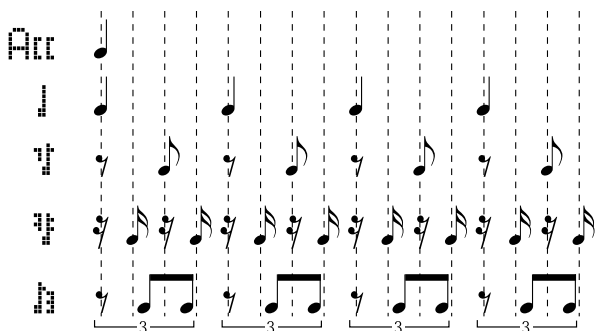
* テンポが表示されない場合は、LEDディスプレイの表示設定(19ページ)を“Disp=tempo”に変更してください。



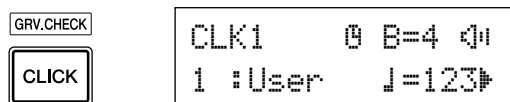
2 クリックセット、テンポ、拍子などを設定しよう

DTX500では、下図のように細かなタイミングのクリックを組み合わせることで、さまざまなクリックのパターンを設定することができます。設定したパターン(クリックセットと呼びます)はDTX500本体メモリーに30パターンまで保存できます。

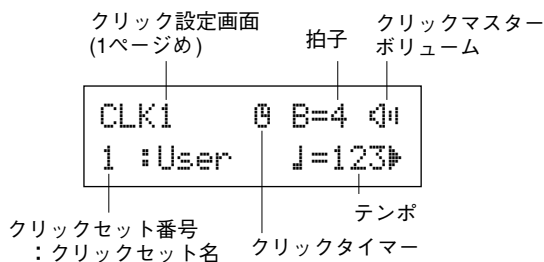
例) Beat=4の場合に発音するタイミング



[CLICK]を押して、クリック設定画面の1ページめを表示させます。



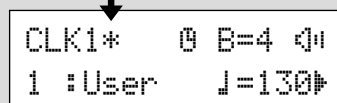
この画面では、クリックセットを選び、拍子、テンポ、タイマー、クリック音全体の音量を設定します。[◀]/[▶]を押して設定したい項目を点滅させ、ジョグダイヤルを回してその値を設定します。



- **クリックセット番号** 【設定範囲】 1~30
使用するクリックセットを選びます。
- **ビート(拍子)** 【設定範囲】 1~9
クリックの拍子を設定します。
- **テンポ** 【設定範囲】 30~300
クリックのテンポ(♩)を設定します。
* テンポの設定に、タップテンポという方法があります。これは、パッドを叩くタイミングでソングやクリックのテンポを設定する機能です。あなたの感覚でカウントを出して、クリックやソングのテンポを決めることができます。詳しくは19ページをご覧ください。
- **クリックタイマー** 【設定範囲】 0~600秒(30秒間隔)
クリックをスタート後、ここで設定した時間が経過すると自動的にクリックを停止させる機能です。
* タイマーの秒数をLEDディスプレイに表示させることができます。詳しくは19ページをご覧ください。
- **クリックマスターボリューム** 【設定範囲】 0~16
クリック全体の音量を設定します。
* 点滅位置がここ以外にある場合は、音量アイコンが表示されます。

注記

- 拍子やテンポの設定を変更すると、“CLK1”表示のあとに“*”が表示されます。これはデータが変更されたことを示しています。セーブ操作(18ページ)を実行するとこの表示は消えます。セーブ操作をせずに他のクリックセットに切り替えるなどすると、現在の設定内容は元に戻ってしまいます。残しておきたいデータはセーブしておきましょう。



3 オリジナルのクリックセットを作ろう

[▶]を押して、クリック設定画面の2ページめを表示させます。

```
CLK2* Att=9 ↓=9
◀ ↑=6 ♯↑=4 ♮=2 ▶
```

この画面で、クリックで鳴る5種類の音符のそれぞれの音量(0~9)を設定します。鳴らさない音符は0に設定します。これでオリジナルのクリックセットを作ることができます。

* クリックで鳴る5種類の音符については、16ページ手順2の「発音するタイミング」の図をご参照ください。

4 クリックメジャーブレイクを設定する

[▶]を押して、クリック設定画面の3ページめを表示させます。

```
CLK3*MeasBreak
◀ Meas=1 Brk=3 ▶
```

クリックメジャーブレイクとは、Measで設定した小節数(1~9)分クリック音を鳴らしたあと、Brkで設定した小節数(off、1~9)だけミュート(消音)させる機能です。上の画面のように設定した場合、1小節クリック音が鳴ったあと、3小節クリック音がミュートされます。

* まずBrkの小節数を設定し、そのあとでMeasの小節数を設定します。

* Brk=offに設定した場合は、ミュートしません。

5 クリックサウンドセットを設定する

[▶]を押して、クリック設定画面の4ページめを表示させます。

```
CLK4*Sound
◀ 1:Metronome ▶
```

クリックサウンドセットでは、メトロノームで鳴る5種類のクリック音を、セット単位で一括して変更することができます。

【設定範囲】Metronome、Wood Block、Percussion、Ago9o、Stick、Pulse、UserClick

また、“UserClick”に設定すると、以降のページ(CLK5、CLK6)でさらに細かいクリック音設定ができます。

6 ユーザークリックサウンドを設定する

[▶]を押して、クリック設定画面の5ページめを表示させます。

```
CLK5*Sound=↓
◀ E20:Click1 ▶
```

クリック音の種類

ボイスの分類/ボイス番号：ボイス名

クリック音で鳴る5種類の音それぞれについて、ドラムボイスを設定することができます。

* CLK4の画面で“UserClick”以外に設定している場合、この設定はできません。

まず、上段でクリック音の種類(Att、↓、↑、♯↑、♮)を選び、次に点滅表示を下段に移動して、割り当てるボイスを選択します。

まずボイスの分類を選びます。

● ボイスの分類

K:キック
S:スネア
T:タム
C:シンバル
H:ハイハット
P:パーカッション
E:効果音

次にボイス番号・ボイス名を選びます。ボイス番号を“00”に設定すると、ボイス名に“NoAssign”と表示され、音が鳴らなくなります。

7 ユーザークリックサウンドをチューニングする

[▶]を押して、クリック設定画面の6ページめを表示させます。

```
CLK6*Sound=↓
◀ Tune=+ 0.0 ▶
```

クリック音の種類

チューニング

クリック音で鳴る5種類の音それぞれについて、チューニングができます。

* CLK4の画面で“UserClick”以外に設定している場合、この設定はできません。

まず、上段でクリック音の種類(Att、↓、↑、♯↑、♮)を選び、次に点滅表示を下段に移動して、チューニング(-24.0~0~+24.0)を設定します。1.0は1半音を表します。

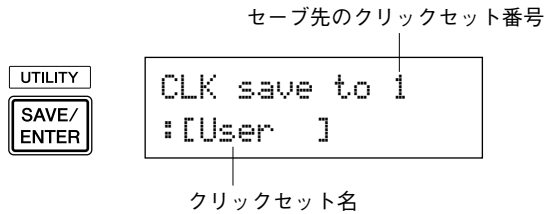
8 オリジナルのクリックセットを保存しよう

ここまでで設定したオリジナルのクリックセットを、以下のセーブ操作で本体メモリーに保存しておきましょう。

注記

- セーブをせずにクリックセット番号を切り替えると、設定内容は消えてしまいます。設定や変更をしたあとは必ず保存を行ってください。

8-1. [SAVE/ENTER]を押します。以下のような画面が表示されます。

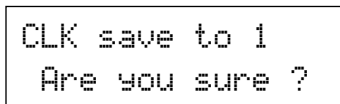


8-2. ジョグダイヤルを回して、セーブ先のクリックセット番号(1~30)を指定します。

8-3. クリックセット名を変更する場合は、[◀]/[▶]を押して変更したい文字を点滅表示させ、ジョグダイヤルを回して文字を選びます。クリックセット名は最大6文字まで付けることができます。使用できる文字は以下のとおりです。(表示順)

```
スペース
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[^\_^
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~
```

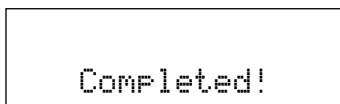
8-4. [SAVE/ENTER]を押すと、セーブ実行の確認を求める画面が表示されます。



8-5. [SAVE/ENTER]を押すと、セーブが実行されます。

- * セーブをキャンセルする場合は、[SAVE/ENTER]、[SHIFT]以外のすべてのボタン(“Are you sure”画面ではジョグダイヤルも含む)のうちいずれかを押します。

セーブが終了すると、以下の画面が表示されます。



NOTE

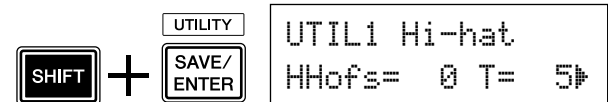
- クリックセット1~30の内容を工場出荷時の状態に戻したい場合は、『ファクトリーセット』を実行します。ただし、ファクトリーセットを実行すると、現在DTX500に設定されている内容(全クリックセット、ユーザートリガーセットアップ(No.8~11)、ユーザードラムキット(No.51~70)、ユーザーソング(No.64~83)、ユーティリティ情報)はすべて工場出荷時の内容に書き替えられてしまいますので、ご確認の上で実行してください。(33ページ)

クリックアウトセレクト

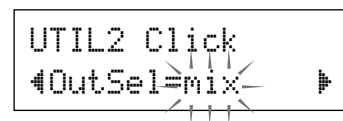
クリック(メトロノーム)の出力先端子を選ぶことができます。クリック音と演奏音を分けて出力することができます。

● 設定手順

1. [SHIFT]+[SAVE/ENTER]を押して、ユーティリティ画面を表示させます。



2. 次に[▶]を2回押して下記の画面を表示させます。



3. ジョグダイヤルを回して、出力先を以下から選択します。

- mix** 通常の設定です。クリック音はOUTPUT L、R両端子から出力されます。
- clickL** クリック音はOUTPUT L端子からのみ出力されます。ドラムの演奏音やソングの再生音はすべてモノラルになってOUTPUT R端子から出力されます。
- clickR** クリック音はOUTPUT R端子からのみ出力されます。ドラムの演奏音やソングの再生音はすべてモノラルになってOUTPUT L端子から出力されます。

- * PHONES端子には、常にOUTPUT端子と同じ信号が出力されます。したがって、ここでの設定は、PHONES端子のステレオL、Rにも適用されます。

タップテンポ機能

タップテンポ機能とは、パッドを叩くタイミングでソングやクリックのテンポを設定する機能です。あなたの感覚でカウントを出して、ソングやクリックのテンポを決めることができます。

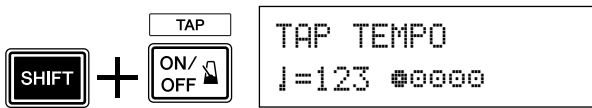
パッドを叩く代わりに[◀]/[▶]を押しても設定できます。

● 設定手順

1. [SHIFT]+[ON/OFF]を押します。

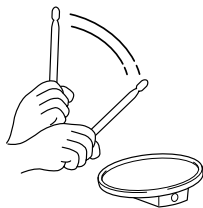
下図のようにタップテンポの設定画面が表示されます。

- * ソングの再生中やクリックを鳴らしている状態でも、タップテンポを設定できます。



2. 演奏したいテンポで、パッドを叩きます(または[◀]/[▶]を押します)。画面に表示されている00000の数だけパッドを叩くと、叩いた時間間隔でテンポ値が表示されます。

- * パッドはどのパッドでもかまいません。
- * ジョグダイヤルを回してテンポ値を変えることもできます。



3. [ON/OFF]を押して、設定したテンポを確認してみましょう。

4. [DRUM KIT]、[CLICK]、[SONG ▶/■]ボタンのいずれかを押すとタップテンポ画面から抜けます。クリック画面、ソング画面ではテンポ値がタップテンポで設定した値になっています。ソングやクリックの再生中であれば、設定したテンポはすぐに反映されます。

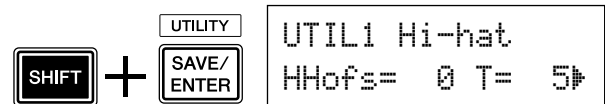
LEDディスプレイの表示設定

LEDディスプレイには通常テンポ値が表示されますが、通常表示させる内容を以下の3タイプから選ぶことができます。

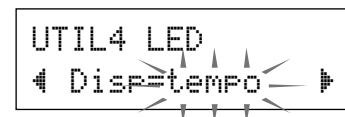
- tempo 現在のテンポを表示
- mode
 - ・ [DRUM KIT]を押した場合: ドラムキット番号
 - ・ [SHIFT]+[DRUM KIT]を押した場合: トリガーセットアップ番号
 - ・ [SONG]を押した場合: ソング番号
 - ・ [CLICK]を押した場合: クリックセット番号
 - ・ [SHIFT]+[SAVE/ENTER]を押した場合: 何も表示しない
 - ・ その他の場合: 現在のテンポを表示
- timer 現在のクリックタイマー (16ページ)を表示

● 設定手順

1. [SHIFT]+[SAVE/ENTER]を押して、ユーティリティ画面を表示させます。



2. 次に[▶]を4回押して下記の画面を表示させます。



3. ジョグダイヤルを回して、表示内容を選択します。

LEDディスプレイの表示設定を“tempo”以外に設定している場合でも、以下の操作でテンポ値を変更した際、変更後数秒間はLEDディスプレイにテンポ値が表示されます。

- ・ [SHIFT]+ジョグダイヤルでテンポ値を変更した場合
- ・ 機能が“tempo”に設定されているパッドコントローラー (15ページ)を操作した場合
- ・ パッドファンクション(21ページ)で“inc tempo”または“dec tempo”が設定されているパッドを叩いた場合

4 ソングと一緒に演奏してみよう！

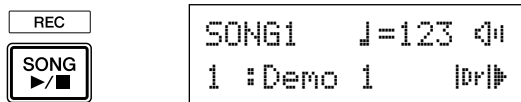
DTX500には、さまざまなジャンルのソングデータが、プリセットで63曲も内蔵されています。ソングに合わせて練習してみましょう。ソングのドラムパートをミュート(消音)して再生したり、ベース音を再生したりすることもできます。

1 ソングを選ぼう

DTX500にセットされているソングを聞いてみましょう。ソング番号1～63には、ドラムだけでなくキーボードやプラスなどの伴奏音も含んだプリセットソングが63種類用意されています。

* 『プリセットソングリスト』(46ページ)

[SONG ▶/■]を押して、ソングの選択画面を表示させます。



ソング番号が点滅していることを確認し、ジョグダイヤルで再生したいソングのソング番号(1～63)を設定します。

* ソングを切り替えると、ドラムキットもそのソングに適したものに切り替わります。



2 ソングを聞いてみよう

[SONG ▶/■]を押すと、カウントのあとでソングがスタートします。

曲の最後まで再生すると、自動的に先頭に戻って再生します。停止するときは[SONG ▶/■]を押します。



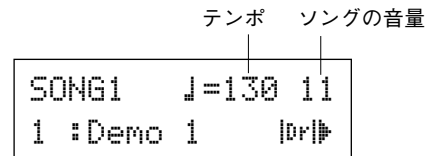
* ソングのテンポやボイス(音色)を元(呼び出したとき)の設定に戻したい場合は、そのソングを選び直してください。

* ソング再生中にソングを切り替えると、新しいソングは先頭から続けて再生されます。

3 ソングの音量、テンポを調節しよう

[◀]/[▶]を押してテンポの値を点滅させ、ジョグダイヤルでソングの再生テンポ(♩= 30～300)を設定します。

次に[▶]を押して点滅位置を右に移動します。スピーカーアイコンが数値表示になり点滅します。ここでソングの**ドラム音以外の音量**(0～16)を設定できます。ジョグダイヤルを回して自分の演奏音とソングの音量とのバランスを調整しましょう。



* テンポの設定に、タップテンポという方法があります。これは、パッドを叩くタイミングでソングやクリックのテンポを設定する機能です。あなたの感覚でカウントを出して、クリックやソングのテンポを決めることができます。詳しくは19ページをご覧ください。

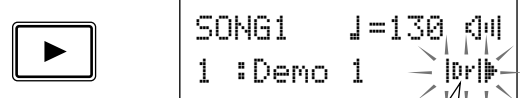
4 ドラムパートをミュート(消音)しよう

それでは、ソングと一緒に演奏してみましょう。

[▶]を数回押して画面右下の「Dr」マークを点滅させます。次にジョグダイヤルを右に回して表示を「Dr」にすると、ソングの中のドラムパートがミュートされた状態で再生されます。ドラムパートはあなたが演奏しましょう。

ジョグダイヤルを左に回して表示を「Dr」から「Dr」に戻すとミュートは解除され、ソングのドラムパートも再生されます。

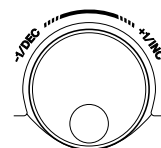
* ドラムミュートはソング演奏中でも可能です。



ジョグダイヤルを左へ回す



ミュート解除
(ドラムパート鳴る)



ジョグダイヤルを右へ回す



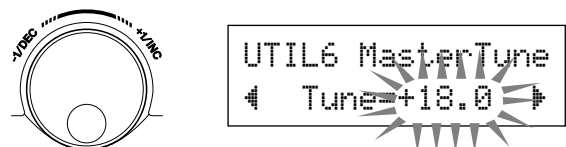
ミュート
(ドラムパート鳴らない)

5 チューニングをしよう

ソングのチューニングを10セント単位で調整することができます。

チューニングの設定は、ユーティリティ画面で行ないます。まず[SHIFT]+[SAVE/ENTER]を押してユーティリティ画面を表示させます。次に[▶]を7回押して下記のマスターチューニングの画面を表示させたら、ジョグダイヤルでチューニング(-24.0～0～+24.0)を調整します。

1.0は1半音を表します。



6 ベースとプレイしよう

ソング再生時にベース音のみを再生する「ベースソロ」という機能があります。ベース音以外の伴奏音をミュートしてソングが再生されるので、あなたのドラム演奏とベースのみでリズムトレーニングができます。

[SHIFT]+[SAVE/ENTER]を押して、ユーティリティ画面に入ります。

次に[▶]を3回押して下記の画面を表示させたら、ジョグダイヤルを回して“BassSolo=on”に設定しましょう。



この状態で[SONG ▶/■]を押してソングを再生すると、ソングのベース音のみが再生されます。

- * ドラムミュートやベースソロでソングを再生すると、テンポが取りづらくなります。そのような場合はソングと同時にクリック音を流すと演奏しやすくなります。
[ON/OFF]を押すとソングのテンポに従ってクリック音がスタートします。もう一度[ON/OFF]を押すと停止します。
- * 通常は、ソングを切り替えるとそのソングに設定されているドラムキットに自動的に切り替わります。気に入ったソングを別のドラムキットで鳴らしたい場合は、[DRUM KIT]を押して、ドラムキット選択画面でドラムキット番号を変更します。
また、ドラムミュート“”をした状態でソングを切り替えると、ソングは切り替わってもドラムキットはそのままになります。

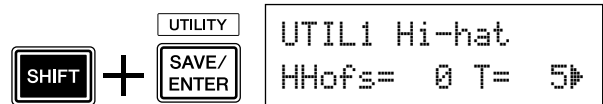
パッドファンクションの設定

特定のパッドを叩くことでパネルボタンを操作したのと同じ機能を実行するように割り当てます。設定できる機能は以下のとおりです。

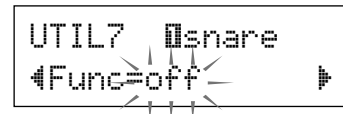
off.....通常の発音動作
inc kitNo.....ドラムキット番号を+1する
dec kitNo.....ドラムキット番号を-1する
inc clkNo.....クリックセット番号を+1する
dec clkNo.....クリックセット番号を-1する
inc tempo.....テンポ値を+1する
dec tempo.....テンポ値を-1する
clkOn/Off.....クリック音をオン/オフする

● 設定手順

1. [SHIFT]+[SAVE/ENTER]を押して、ユーティリティ画面を表示させます。



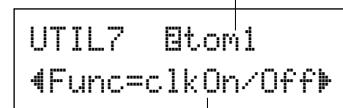
2. [▶]を数回押してUTIL7の設定画面を表示させます。



3. 目的のパッドを叩くか[SHIFT]+[◀/▶]を押して、機能を割り当てたいパッド(トリガー入力ソース)を指定します。

4. ジョグダイヤルを回して、割り当てる機能を選択します。

パッドファンクション機能を割り当てる対象のパッド(トリガー入力ソース)



上記パッドに割り当てる機能

上記の設定では、②TOM1/⑩端子のタム1パッドを叩くたびにクリック音をオン/オフできます。

5 グループチェック機能を使ってみよう！

グループチェック機能とは、ソングやクリックに合わせてパッドやドラムを演奏する際、再生中のソングやクリックのタイミングで正確に叩けているかをチェックする機能です。

また、タイミングのずれたショットでは発音しない設定(リズムゲート機能)を使うことで、ゲーム感覚でショットのトレーニングができます。

グループチェックのモード

グループチェックには、次の2つのモードがあります。

● 数値表示モード

ショットの正確さを数値表示するモードです。

1ショットごとのタイミングのズレおよび停止するまでの全ショットのズレの平均、そのばらつきを数値表示します。GRV2の画面でリズムゲートの設定を“Challenge”以外に設定すると、このモードになります。

* ショットのタイミング表示

実際のショットのタイミングがジャストタイミングより遅れている場合は右、速い場合は左にアイコンが表示されます。

* リズムゲートの範囲

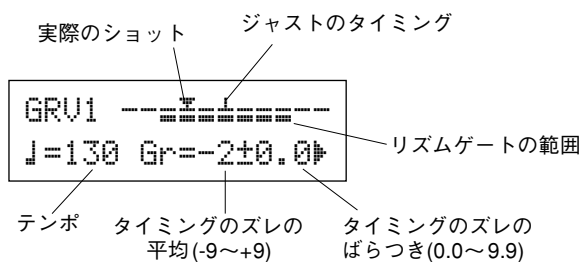
リズムゲート機能を使うと、設定した範囲のタイミングで叩いた場合にのみ発音し、この範囲を外れたタイミングで叩いた場合には発音しません。このリズムゲートの範囲は難易度により3段階とoff(常に発音)から選ぶことができ、その範囲は画面上段下部に表示されます。

* テンポ

ジョグダイヤルで、ソングまたはクリックのテンポを30～300の範囲で設定できます。

* タイミングのズレの表示

GRV4の画面で設定した音符のタイミングを基準として、実際のショットの時間のずれの平均を数値表示します。
0(ジャスト)、1～9(単位は16分音符の1/24)
ズレのばらつきは0.0～9.9。もちろんこの数値が小さいほどリズムの安定したショットな訳です。



● チャレンジモード

ショットの正確さを100回ごとにDTX500が自動判定し、A～Fの6段階で評価し、その評価に併せてリズムゲートの設定範囲を自動設定するモードです。

ショットが正確なら許容範囲が狭く、ショットのズレが大きい場合は許容範囲が広がります。

GRV2の画面でリズムゲートの設定を“Challenge”に設定すると、このモードになります。

* ショットのタイミング表示

数値表示モードと同様、実際のショットのタイミングがアイコンで表示されます。

* リズムゲートの範囲

設定されているリズムゲートの範囲が画面上段下部に表示されます。

パッドを規定回数叩き終わると、ショットの正確さが評価され、リズムゲートの範囲が自動設定されます。

* ショットの精度の評価

画面下段には、規定回数までの残りショット数、現時点での発音結果(%)が表示されます。

また、現在のレベル(評価)と評価の進行状況の表示は演奏中に変わっていきます。発音結果(%)が90%以上のときは1段階レベルアップし、60%以下のときは1段階レベルダウンします。

・現在のレベル(評価)：A(最高)～F(最低)

・評価の進行状況の表示と意味

⬆：この調子ならレベルアップ

→：この調子なら現在と同レベル

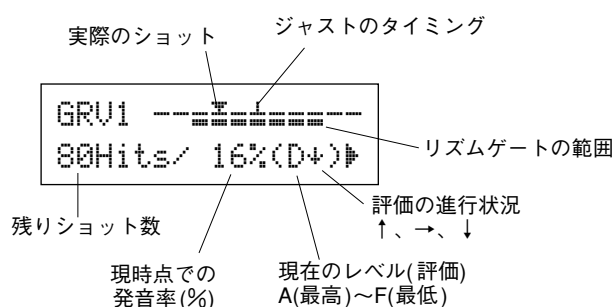
⬇：この調子ならレベルダウン



・チャレンジモード開始時のレベル(評価)はDに設定されています。

* テンポ

チャレンジモードの画面には表示されませんが、[SHIFT]を押しながらジョグダイヤルを回すと、ソングまたはクリックのテンポを30～300の範囲で設定できます(LEDディスプレイに表示)。



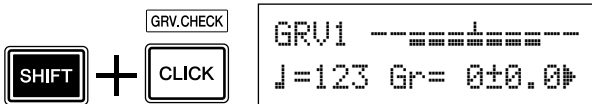
それでは、グループチェック機能を使ってみましょう。

1 ソング、クリックセットを選んでおこう

あらかじめ、自分が練習したいソングやクリックセットを選んでおきます。

2 リズムゲートを設定(モード選択)する

[SHIFT]+[CLICK]を押してグループチェックの1ページめ(GRV1)を表示させます。

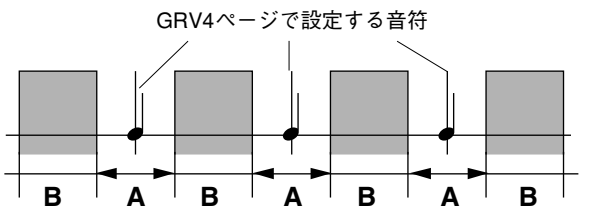


次に[▶]を1回押してGRV2ページを表示させます。この画面でジョグダイヤルを回して、リズムゲートを設定します。



● リズムゲートの設定

- offどのタイミングで叩いても発音
- easy発音の許容範囲が広い(やさしい)
- normal発音の許容範囲が中程度(ふつう)
- pro発音の許容範囲が狭い(むずかしい)
- challenge ...自動判定で発音の許容範囲が変化(チャレンジモード)

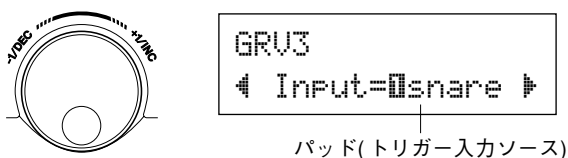


A : 発音される範囲 (easy→normal→pro と幅が狭くなる)
 B : 叩いても発音されない範囲

3 パッドを選択する

[▶]を押してGRV3ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、グループチェックしたいパッド(トリガー入力ソース)を選びます。“all”を選ぶと全パッドが対象になります。

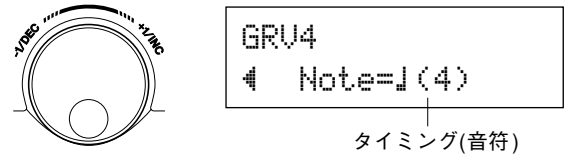
【設定範囲】 00snare、01tom1、... 09pad12、all



4 タイミング(音符)を決める

[▶]を押してGRV4ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、グループチェックしたいタイミングの音符を選びます。

【設定範囲】 アクセント ♩、4分音符 ♩(4)、8分音符 ♩(8)、16分音符 ♩(16)、8分三連符 ♩



5 グループチェックスタート！

設定が完了したら、ソングをスタート([SONG ▶/■])またはクリックをスタート([ON/OFF])し、グループチェックのメイン画面(GRV1)を表示させます。

GRV3ページで設定したパッドを叩くとグループチェックがスタートします。

6 正確にプレイしよう

ソングやクリックを聞きながら、正確にパッドを叩きましょう。ジョグダイヤルを回して、ソングやクリックのテンポを調整することもできます。

数値表示モードの場合は、ソングまたはクリックを停止し、結果を確認しましょう。必要に応じてリズムゲートの設定やパッド、音符などの設定を変えて練習してみましょう。

* グループチェックの結果は、ソングまたはクリックを再スタートした際にリセットされます。

チャレンジモードの場合は、残りショット数が0Hitsになると、最終評価がA～Fの6段階で表示されます。この評価によって発音範囲が自動設定されます。評価が高い(Aが高くFが低い)ほど発音の許容範囲が狭く設定されます。

* グループチェックの結果は、ソングまたはクリックを再スタートした際にリセットされます。また、現在のレベル(評価)と発音範囲もリセットされます。

こんどは、自分の演奏をDTX500に録音してみましょう。

録音したデータは、プリセットソングと同様にドラムキットを差し替えたりテンポを変えたりして再生することができます。

録音のしくみ

- ・録音は、録音用に用意されたユーザーソング(No. 64~83)に対して行ないます。プリセットソング(No. 1~63)には録音できません。
- ・ソングには、パッドをどのようにどのタイミングで叩いたかといった演奏情報が録音(記録)されます。これをシーケンスデータといいます。シーケンスデータは、再生する際に自由に音色やドラムキットを選んだりテンポを変えたりすることができます。

それでは、録音を始めましょう。

1 録音先のソングを選びます

[SONG] を押してソング選択画面を表示させ、録音先のユーザーソング番号(No. 64~83)を選びます。

プリセットソングに合わせて演奏し、それを録音したい場合は希望のプリセットソング(No. 1~63)を選びます。この場合、録音はデータの入っていない若い番号のユーザーソングに対して行なわれます。

注記

- ・すでにデータのあるユーザーソングを選んだ場合、上書き録音されそれまでの録音内容は消えてしまいますので、ご注意ください。

2 録音条件を設定します

[SHIFT] を押しながら [SONG ▶/■] を押して、以下の録音条件設定画面を表示させます。

- ・プリセットソングを選んで録音する際、ユーザーソングすべてにデータが存在していた場合、“Memory full”とエラー表示が出ます。ソングクリア(25ページ)の操作で空のユーザーソングを用意してから、録音条件を設定してください。

この画面では、録音時のクリックのテンポ、拍子、クオンタイズを設定します。

[◀]/[▶] を押して設定したい項目を点滅させ、ジョグダイヤルを回してその値を設定します。



・テンポ 【設定範囲】 30~300

録音時のクリックのテンポ(♩)を設定します。

・ビート(拍子) 【設定範囲】 1~9

録音時のクリックの拍子を設定します。

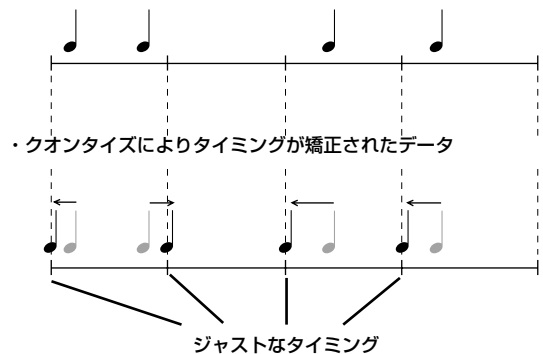
・クオンタイズ 【設定範囲】 1、13、1(8分音符)、

13(8分3連符)、1(16分音符)、13(16分3連符)、no
クオンタイズとは、タイミングがずれて演奏されたパッド情報を、ジャストなタイミングに矯正する機能です。矯正する精度を音符で指定します。DTX500ではクオンタイズをかけながら録音することができます。

* “no” にするとクオンタイズはかかりません。

● クオンタイズの動作例

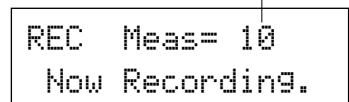
- ・タイミングがずれて入力されたデータ



3 録音を開始しましょう

[SONG ▶/■] を押すと、カウントのあとで録音が始まります。クリック音を聞きながら演奏しましょう。

現在録音中の小節番号



注記

- ・録音中は、絶対に電源を切らないでください。すべてのユーザーソングデータが失われるおそれがあります。

4 録音の終了

[SONG ▶/■] を押すと録音終了し “now storing ...” とデータ保存中のメッセージがしばらく表示されます。



注記

- ・ “now storing ...” 表示中は、絶対に電源を切らないでください。すべてのユーザーソングデータが失われるおそれがあります。

データ保存が完了すると “completed!” と表示後、ソング選択画面に戻ります。

完成したソングは、電源を切っても保存されます。

5 ソングを聞いてみよう

表示されたソング選択画面を確認しましょう。

録音されたユーザーソング番号が点滅しています。

[SONG ▶/■] を押すと、今録音した演奏が最初から再生されます。

- * 録音時のドラムキットとは別のキットに変更して再生することができます。変更する場合は、[DRUM KIT]を押してドラムキットの選択画面(KIT1ページ)に入ってから、ジョグダイヤルを回してキットを選択します。

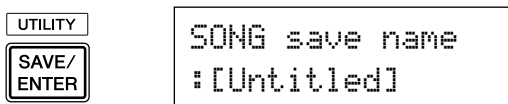
6 ユーザーソングに名前を付けよう

録音したユーザーソングのソング名は、プリセットソングのソング名または “Untitled” になっています。

完成したユーザーソングにオリジナルの名前を付けましょう。

- * プリセットソングのソング名は変更できません。

- 6-1. ソング選択画面で [SAVE/ENTER] を押します。ソング名の設定画面が表示されます。



- 6-2. [◀]/[▶] を押して変更したい文字を点滅表示させ、ジョグダイヤルを回して文字を選びます。ユーザーソング名は最大8文字まで付けることができます。使用できる文字は以下のとおりです。(表示順)

```
スペース
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz(|)~+
```

- 6-3. [SAVE/ENTER] を押すと、セーブ実行の確認を求め画面が表示されます。

- 6-4. [SAVE/ENTER] を押すと、セーブが実行されます。

- * セーブをキャンセルする場合は、[SAVE/ENTER]、[SHIFT]以外のすべてのボタン(“Are you sure”画面ではジョグダイヤルも含む)のうちいずれかを押しします。

セーブが完了すると “completed!” と表示後、ソング選択画面に戻ります。ソング名が確定されました。

7 ソングを消すには

不要なユーザーソングは、以下の手順で消去します。

- * プリセットソングは消去できません。

- 7-1. ソング選択画面でソング番号を点滅表示させ、消去したいユーザーソングをジョグダイヤルで選びます。

- 7-2. [▶] を2回押して、SONG2の設定画面を表示させます。

- 7-3. [SAVE/ENTER] を押すと、“now clearing ...” とデータ消去中のメッセージがしばらく表示されず。

注記

- ・ “now clearing ...” 表示中は、絶対に電源を切らないでください。すべてのユーザーソングデータが失われるおそれがあります。

- 7-4. データ消去が完了すると “completed!” と表示後、SONG1の設定画面に戻ります。

NOTE

- ・ 『ファクトリーセット』を実行すると、ユーザーソング (No.64～83) がすべて消去されます。また、現在 DTX500 に設定されている内容(全クリックセット、ユーザートリガーセットアップ (No.8～11)、ユーザードラムキット (No.51～70)、ユーティリティー情報) もすべて工場出荷時の内容に書き替えられてしまいますので、ご確認の上で実行してください。(33ページ)

7 自分だけのドラムキットを作ろう！

パッドごとに自分の好きなドラムボイスを割り当て、チューニングやパン、減衰時間、リバース量などを設定し、オリジナルのドラムキットをセットアップしましょう。

* ドラムボイス: 各パッドに割り当てられる打楽器音のこと。

* ドラムキット: 各パッドに割り当てられた打楽器音(ドラムボイス)をセットにしたもの。

1 ドラムキットを選ぶ

[DRUM KIT]を押してドラムキットの選択画面(KIT1ページ)を表示させます。



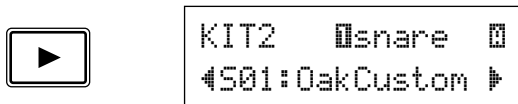
ジョグダイヤルを回して、ベースになるドラムキットを選びます。あなたが作りたいドラムキットのサウンドに近いものを選びましょう。

* プリセットドラムキット (No. 1~50)もユーザードラムキット (No. 51~70)も編集することができます。

2 ドラムボイスを選ぶ

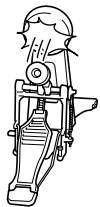
ここでは例としてバスドラム音(kick)を作り込んでいきましょう。

2-1. [▶]を押して、ドラムボイスの選択画面(KIT2)を表示させます。

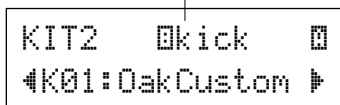


2-2. 編集対象のパッド(トリガー入力ソース)の切り替えは、目的のパッドを叩くか[SHIFT]+[◀]/[▶]で行ないます。

キックペダルを踏むか、または[SHIFT]+[◀]/[▶]で“kick”を選びます。これは、トリガー入力端子の⑧KICKに接続しているパッド入力、つまりキックペダルのパッド入力を選んでいきます。



設定対象のパッド



● パッド(トリガー入力ソース)について

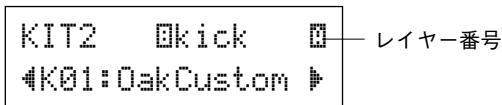
パッドの入力ソースとは、DTX500のトリガー入力端子①SNARE~⑧KICK/⑨に接続しているパッドやドラムトリガー(ヤマハDT20など)から送られるトリガー情報の種類をいいます。TP65、KP125W/125/65、PCY65/130、DT10/20などのモノラル出力のパッド類の場合は、1つの入力端子には1つの入力ソースが割り当てられます。RHH135/130、PCY65Sなどのステレオ出力のパッド類の場合は、1つの入力端子に2つの入力ソース(パッド入力とリムスイッチ入力、2種類のパッド入力など)が割り当てられます。XP100T/100SD/120T/120SD、TP65S、TP120SD/100、PCY155/150S/135/130SCなどの3ゾーンパッド類の場合は、1つの入力端子に3つの入力ソース(パッド入力と2種類のリムスイッチ入力など)が割り当てられます。

各入力ソース表示の意味は以下のとおりです。

| | |
|----------|---|
| ■snare | ① SNARE端子のパッド入力 |
| ■snrOp | ① SNARE端子のオープンリムスイッチ入力 |
| ■snrCl | ① SNARE端子のクローズドリムスイッチ入力 |
| ■snrOff | スナッピー OFF時の①SNARE端子パッド入力 |
| ■snrOfOp | スナッピー OFF時の①SNARE端子オープンリムスイッチ入力 |
| ■snrOfCl | スナッピー OFF時の①SNARE端子クローズドリムスイッチ入力 |
| ■tom1 | ② TOM1端子のパッド入力 |
| ■tom2 | ③ TOM2端子のパッド入力 |
| ■tom3 | ④ TOM3端子のパッド入力 |
| ■ride | ⑤ RIDE端子のパッド入力 |
| ■rideE | ⑤ RIDE端子のエッジリムスイッチ入力 |
| ■rideC | ⑤ RIDE端子のカップスイッチ入力 |
| ■crash | ⑥ CRASH端子のパッド入力 |
| ■crashE | ⑥ CRASH端子のエッジリムスイッチ入力 |
| ■crashC | ⑥ CRASH端子のカップスイッチ入力 |
| ■hhOp | HHコントローラーがクローズでないときの⑦HI HAT端子のパッド入力 |
| ■hhOpE | HHコントローラーがクローズでないときの⑦HI HAT端子のエッジリムスイッチ入力 |
| ■hhCl | HHコントローラーがクローズのときの⑦HI HAT端子のパッド入力 |
| ■hhClE | HHコントローラーがクローズのときの⑦HI HAT端子のエッジリムスイッチ入力 |
| ■hhFtCl | HHコントローラーの踏み込み入力 |
| ■hhSp1sh | HHコントローラーのフットブラッシュ入力 |
| ■kick | ⑧ KICK端子のパッド入力 |
| ■pad9 | ⑨ PAD ⑨端子のパッド入力 |
| ■pad10 | ② PAD ⑩端子のパッド入力 |
| ■pad11 | ③ PAD ⑪端子のパッド入力 |
| ■pad12 | ④ PAD ⑫端子のパッド入力 |

* モノラル出力のパッド類にはリムスイッチ出力はありません。

- 2-3. “kkick”の横の“k”はレイヤー番号=1、“k”はレイヤー番号=2を表しています。1つの入力ソースで2つの楽器音を鳴らすことができます(2レイヤー)。どちらの楽器音を編集するかをここで切り替えます。



- 2-4. 次に、ドラムボイスの分類を決めます。ドラムボイスの分類は、メトロノームのクリックサウンドの場合(17ページ)と同じです。

● ボイスの分類

- K:キック
- S:スネア
- T:タム
- C:シンバル
- H:ハイハット
- P:パーカッション
- E:効果音

ここでは“K:キック”を選択しましょう。[◀]/[▶]を押してボイスの分類を点滅させ、ジョグダイヤルを回して、“K”を選びます。

注記

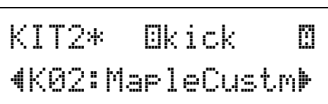
- ・データの設定を変更すると、“KIT”表示のあとに“*”が表示されます。これはデータが変更されたことを示しています。セーブ操作(32ページ)を実行するとこの表示は消えます。セーブ操作をせずに他のドラムキットに切り替えるなどすると、設定内容は元に戻ってしまいます。残しておきたいデータはセーブしておきましょう。

- 2-5. 次に、ドラムボイスを選びましょう。

[◀]/[▶]を押してボイス番号を点滅させ、ジョグダイヤルを回して、ドラムボイスを指定します。ボイス番号とボイス名が表示されます。

ここでは“k02:MapleCustm”を選択してみましょう。

* “00”に設定すると、ボイス名に“NoAssign”と表示され、音が鳴らなくなります。



NOTE

- ・レイヤー1、2ともにドラムボイスを設定した場合、KIT3~10の画面上段右にレイヤーのアイコン(またはk)が表示されます。このアイコンを点滅させ、ジョグダイヤルを回して、設定対象のレイヤーを切り替えます。
- ・レイヤー1、2のどちらか一方のみにドラムボイスを設定(もう一方は“NoAssign”)した場合、KIT3~10の画面にレイヤーのアイコンは表示されません。ドラムボイスが設定されている側のレイヤーが設定対象となります。
- ・レイヤー1、2ともにドラムボイスを設定していない(どちらも“NoAssign”)場合、KIT3~18の画面において設定値部分が“---”表示となり設定できません。

これで、材料となるドラムボイスを選びました。このキックのドラムボイスを様々な編集して、オリジナルのバスドラム音を作りましょう。

編集できる項目はたくさんありますが、すべての項目を設定する必要はありません。また、以下で紹介する順番どおりに設定する必要もありません。KIT画面3ページから25ページの中から編集したい画面を選んで設定しましょう。

データを変更したら保存しましょう！

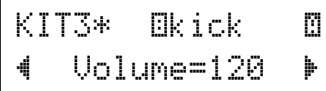
設定を変更したデータは、必ずセーブ操作で保存しておきましょう。保存方法は、手順26をご覧ください。

セーブ操作をせずに他のドラムキットに切り替えるなどすると、設定内容は元に戻ってしまいます。残しておきたいデータは必ずセーブしておきましょう。

3 ボリュームを変えてみよう

パッドを叩いたときのドラムボイスの音量を変えてみましょう。他のパッドの音量とのバランスを調整します。

[▶]を押してKIT3ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、音量(0~127)を設定します。

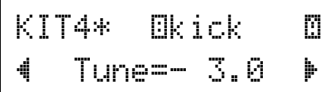


4 チューニング(ピッチ)を変えてみよう

ドラムボイスのチューニング(音程)を変えてみましょう。

[▶]を押してKIT4ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、チューニングを設定します。

-24.0~0~+24.0の範囲で設定できます。1.0は1半音を表します。



5 パンを変えてみよう

ドラムボイスのパン(ステレオでの定位)を変えてみましょう。

[▶]を押してKIT5ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、パンを設定します。

“L64”(左端)~“C”(中央)~“R63”(右端)と、設定によって現在選択されているドラムボイスの間こえる位置が移動します。



6 ディケイ(音の減衰時間)を変えてみよう

ドラムボイスのディケイ(音が鳴ってから消えるまでの時間)を変えてみましょう。

[▶]を押してKIT6ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、ディケイ(-64~0~+63)を設定します。プラスの値にすると歯切れの良い音になります。

```
KIT6*  kick  [ ]
◀ Decay=+ 8 ▶
```

7 音色を変えてみよう(フィルターの設定)

フィルターのカットオフ周波数を調整して、ドラムボイスの音色(音の明るさ)を変えてみましょう。

[▶]を押してKIT7ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、カットオフ周波数(-64~0~+63)を設定します。プラスの値にすると明るい音色になります。

```
KIT7*  kick  [ ]
◀ CutOffFreq=+ 4▶
```

8 MIDIノートナンバーを設定する

トリガー入力があった際に出力するMIDIノートナンバーを設定しましょう。

[▶]を押してKIT8ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、MIDIノートナンバー(0~127)を設定します。ノートナンバーと音名(C-2~G8)が表示されます。

```
KIT8*  kick  [ ]
◀ Note= 32/G#0 ▶
```

* 他の入力ソースですでに割り当てられているMIDIノートナンバーを設定した場合、“Note=”のあとに“*”が表示されます。

* 複数のパッドで同じMIDIノートナンバーを設定した場合、入力ソースの順番が早いものの設定が優先され、重複している入力ソースは同じ音が鳴ります。また、MIDIノートナンバーの重複のため設定できない場合は、下段に“(Note# in use)”または“(# in use)”と表示されます。

9 MIDIチャンネルを設定する

トリガー入力があった際に出力するMIDIノートオン情報の出力MIDIチャンネルを設定しましょう。

[▶]を押してKIT9ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、出力MIDIチャンネル(1~16)を設定します。

```
KIT9*  kick  [ ]
◀ MIDI Ch=10 ▶
```

10 MIDI出力のゲートタイムを設定する

MIDIノートオン情報出力時のゲートタイム(キーオンからキーオフまでの時間間隔)を設定しましょう。

[▶]を押してKIT10ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、ゲートタイム(0.0s~9.9s)を設定します。

```
KIT10* kick  [ ]
◀ GateTime=0.3s ▶
```

11 MIDIキーオフ認識のオン/オフを設定する

MIDIキーオフメッセージを認識する/しないを設定しましょう。

* この設定はレイヤー []、[] 共通となります。画面上部右に []/[] は表示されません。

[▶]を押してKIT11ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、キーオフを設定します。

```
KIT11* kick  [ ]
◀ KeyOff=disable▶
```

enable.....キーオフを認識します。

disable.....キーオフを認識しません。

* “disable”に設定した場合、ボイスによっては音が鳴りっぱなしになってしまうものがあります。[DRUM KIT]を押すと音を止めることができます。

12 ホールドモードを設定する

パッドを叩くたびにMIDIキーオンとキーオフを交互に出力することができます。

* この設定はレイヤー []、[] 共通となります。画面上部右に []/[] は表示されません。

[▶]を押してKIT12ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、ホールドモードを設定します。

```
KIT12* kick  [ ]
◀ HoldMode=off ▶
```

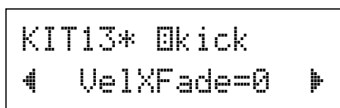
- on.....パッドを叩くたびにMIDIキーオンとキーオフを交互に出力します。
 - off.....通常動作。パッドを叩く動作ではMIDIキーオンだけを出力します。ディケイタイム終了後、自動的にキーオフを出力します。
- * “on” に設定した場合は、KIT15でキーアサインモードを“high” に設定することをおすすめします。

13 クロスフェードを設定する

レイヤーボイス \square 、 \square 間でベロシティによるクロスフェードを設定します。

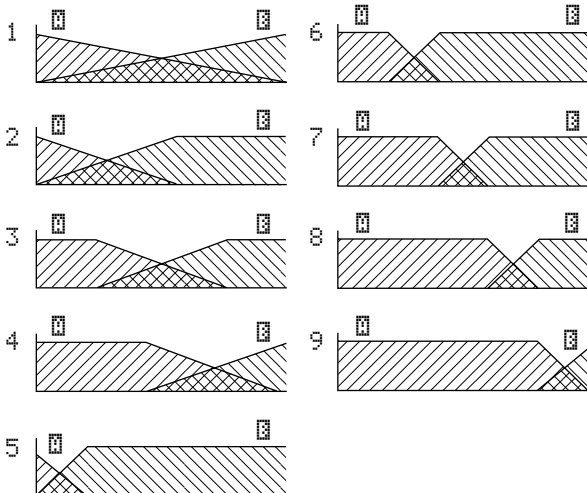
* この設定はレイヤー \square 、 \square 共通となります。画面上部右に \square/\square は表示されません。

[▶]を押してKIT13ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、クロスフェードのタイプを設定します。



● クロスフェードのタイプ

0.....クロスフェードなし。



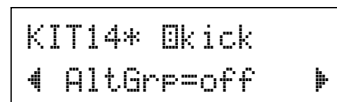
↑縦軸：レイヤー \square 、 \square 間のバランス
 →横軸：ベロシティ
 \square/\square ：レイヤー \square
 \square/\square ：レイヤー \square

14 オルタネートグループを設定する

ハイハットクローズとハイハットオープンのように、同時には鳴らしたくないドラムボイスを同じオルタネートグループ番号に指定しておく、発音中のボイスと同じオルタネートグループ番号のボイスのトリガーを受けた場合、発音中のボイスを消してから次のボイスを発音(ハイハットオープンの発音を消してからクローズが発音)します。

* この設定は2レイヤーの入力ソースに対しては無効となります。画面上部右に \square/\square は表示されません。

[▶]を押してKIT14ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、オルタネートグループを設定します。



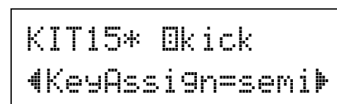
- off.....消音動作は行なわれません。
- HH Pad.....ハイハットパッドを叩いたときのボイス (\square/\square Off、 \square/\square OnEなどに設定します。
- HH Pedl.....ハイハットペダルを踏んだときのボイス (\square/\square HhFtCl、 \square/\square HhSp1sh、 \square/\square HhCl、 \square/\square HhClEなどに設定します。
- 1~9.....オルタネートグループ番号。同時に鳴らしたくないボイスを同じ番号に指定します。

15 キーアサインモードを設定する

同じMIDIノートナンバーのボイスが同時に複数鳴る場合の発音ルールを設定します。

* この設定はレイヤー \square 、 \square 共通となります。画面上部右に \square/\square は表示されません。

[▶]を押してKIT15ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、キーアサインモードを設定します。



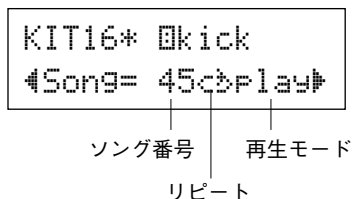
- poly.....重ねて発音します。
- semi.....常に最大3音まで鳴るように、4番目を鳴らす場合は前に発音中の音が消音されます。
- mono.....前に発音中の音を消音し、常に1音だけを発音します。
- high.....前に発音中の音を消音し、常に1音だけを発音します。ただし、最大同時発音数の32音を越えた場合でもこのノートナンバーのボイスは消音されません。

16 パッドソングを設定する

パッドを叩いたときに、指定したソングを再生させる機能です。パッドソングは、ソング画面で選択されるメインのソングとは独立して再生でき、1つのドラムキットに対して最大3つのパッドソングを設定することができます。

* この設定はレイヤー 0、1 共通となります。画面上部右に 0/1 は表示されません。

[▶]を押してKIT16ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、割り当てるソング番号、リピート、再生モードを設定します。



● ソング番号

off、45~63 ...パッドソングに割り当てるソング番号。

● リピート

c>.....リピート再生(ソングの終わりまで再生するとソングの先頭に戻り再生を繰り返す)します。

->.....ノーマル再生します。

● 再生モード

Play.....パッドを叩くたびに、指定したパッドソングをスタート/ストップします。

chse.....パッドを叩くたびに、指定したパッドソングを1小節のみ再生しポーズします。

ctof.....パッドを叩くたびに、指定したパッドソングをスタート/ストップします。ただし、“ctof”に指定されているパッドソングが再生されている場合はそれを停止します。“ctof”に指定されているパッドソングは常に1つしか再生されないように動作します。

* パッドソングは1つのドラムキットに対して3つまで設定できます。他のパッドにもパッドソングを設定する場合は、目的のパッドを叩くか[SHIFT]+[◀]/[▶]を押して、画面上段に目的のパッド名(トリガー入力ソース)を表示させます。ただし、すでにパッドソングを3つ設定している場合は、“Song=off”の表示から変更できません。

* パッドソングのテンポはソング画面またはクリック画面で表示されているメインのソングと同じ設定となります。

* パッドソングを割り当てた入力ソースに、UTIL7ですでに機能が割り当てられている場合(21ページ)は、“Song=(in use!)”と表示され、UTIL7での設定が優先されます。

* パッドソングを複数個設定した場合、パッドソングの組み合わせによっては音色が変わって再生されることがあります。

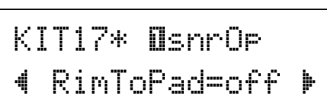
17 リムトゥパッドを設定する

入力ソースがリムスイッチ入力の場合にのみ有効な機能です。リムを叩いたときに、リムスイッチ情報と同時に同じパッド(トリガー入力端子)のパッド情報も出力させることができます。この設定により、スネアのリムショット時にパッドも同時に鳴らすことができます。

* この設定はレイヤー 0、1 共通となります。画面上部右に 0/1 は表示されません。

* 入力ソースにリムスイッチ以外の入力を選択している場合は“RimToPad=---”と表示され、設定できません。ここでは入力ソースに“0snrOf”を選んだ場合の画面で説明します。

[▶]を押してKIT17ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、リムトゥパッドを設定します。



off.....リムスイッチ情報のみを出力します。

on.....リムスイッチ情報とパッド情報を出力します。

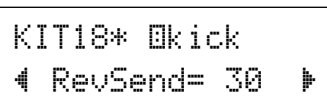
18 リバーブのかかり具合を変えてみよう(1)

入力ソースごとに、そのボイス(レイヤー 1、2)のリバーブへの送り量を設定します。リバーブのかかり具合の調節ができます。

* この設定はレイヤー 0、1 共通となります。画面上部右に 0/1 は表示されません。

* ここで設定した送り量にKIT19で設定したドラムリバーブセンド量を掛け合わせたものが、実際のリバーブへの送り量となります。

[▶]を押してKIT18ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、リバーブセンドレベル(0~127)を設定します。

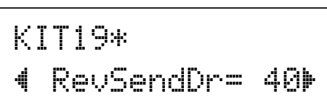


19 リバーブのかかり具合を変えてみよう(2)

ドラムボイス全体の、リバーブへの送り量を設定します。


* この設定はドラムボイス全体に共通となります。画面上部右に 0/1 は表示されません。

[▶]を押してKIT19ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、ドラムリバーブセンドレベル(0~127)を設定します。



20 リバーブタイプを変えてみよう

ドラムキットごとに、使用するリバーブのタイプを設定します。設定したリバーブタイプは、ドラムキットの全入力ソースに共通です。

* この設定はドラムボイス全体に共通となります。画面上部右には表示されません。

[▶]を押してKIT20ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、リバーブタイプを設定します。

```
KIT20*
◀RevType=hall1 ▶
```


none リバーブはかかりません。(スルーと同じ)
 hall1~5 ホールをシミュレーションしたリバーブです。
 room1~5 部屋をシミュレーションしたリバーブです。
 stage1~5.. ステージで演奏しているようなリバーブです。
 Plate 金属的な響きを持ったリバーブです。
 white 独特の短いリバーブです。
 tunnel..... トンネルの中で演奏しているようなリバーブです。
 bsemnt..... 地下室で演奏しているようなリバーブです。

* hall、room、stageは、数字が大きいくほど効果が大きくなります。

21 リバーブのかかり具合を変えてみよう(3)

ドラムキットごとに、リバーブエフェクトからの信号の戻り量を設定します。設定したリバーブタイプは、ドラムキットの全入力ソースに共通です。

DTX500全体に対するリバーブのかかり具合が調整されます。

* この設定はドラムボイス全体に共通となります。画面上部右には表示されません。

[▶]を押してKIT21ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、リバーブマスターリターンレベル(0~127)を設定します。


```
KIT21*
◀RevMastRet= 64▶
```

22 パッドコントローラーを設定する

パッドコントローラー付きパッドを①SNARE端子に接続し、トリガーセットアップTRG2(パッドタイプ)を「SN-1」、「SN-2」、「TM-1」、「TM-2」に設定している場合にのみ有効な機能です。

パッドコントローラーを回すことで、以下のいずれかの調整を行なうことができます。

off 機能なし
 snares..... スナッピーの張り具合の調整(オープンリム音にも効果)
 tuning..... チューニングの調整(オープンリム音にも効果)
 tempo..... テンポの調整

* この設定画面の上部右には表示されません。


[▶]を押してKIT22ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、パッドコントローラーの機能を設定します。

```
KIT22*
◀PadCtl=snares ▶
```

23 スナッピーを設定する

①SNARE端子に接続されたパッドのスナッピーの張り具合を調節します。

パッドコントローラーが付いていないパッドにも有効です。

* この設定画面の上部右には表示されません。

[▶]を押してKIT23ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、スナッピーの張り具合を設定します。


```
KIT23*
◀ Snares=24 ▶
```

off スナッピー off(スナッピーを外した状態)。
 1~24 1はスナッピーが最も緩んだ状態。数値が大きくなるほどスナッピーが張った状態になります。

* この設定を変更すると、入力ソース“snare”および“snrOp”のディケイ設定(KIT6)も同時に変更されます。

24 プログラムチェンジ、バンクセレクトを設定する

ドラムキットが選択されたときに送信するMIDIプログラムチェンジナンバーと、そのバンクセレクトMSB、LSBを設定します。MIDIチャンネルごとに設定できます。プログラムチェンジを送信することで、DTX500のドラムキットを切り替えた際、MIDI OUT端子に接続したMIDI機器の音色を切り替えるなどの操作ができます。

* この設定画面の上部右には表示されません。

[▶]を押してKIT24ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、以下の各設定を行ないます。



* プログラムチェンジ出力のオン/オフが“off”に設定されている場合、PCおよびM、Lの値は“---”表示となり設定できません。

● MIDIチャンネル

1~16.....プログラムチェンジの設定対象のMIDIチャンネル。

● プログラムチェンジ出力のオン/オフ

on.....プログラムチェンジを出力します。
off.....プログラムチェンジを出力しません。

● プログラムチェンジナンバー

001~128.....送信するプログラムチェンジナンバー

● バンクセレクトMSB、LSB


000~127.....バンクセレクトMSB番号、LSB番号

* バンクセレクトMSB、LSBの値については、接続するMIDI機器のボイスリスト、MIDIデータフォーマットなどをご覧ください。

25 コントロールチェンジのボリューム、パンを設定する

ドラムキットが選択されたときに送信するMIDIコントロールチェンジのボリュームとパンを設定します。MIDIチャンネルごとに設定できます。

コントロールチェンジを送信することで、DTX500のドラムキットを切り替えた際、MIDI OUT端子に接続したMIDI機器の音色のボリューム、パンも切り替えることができます。

* この設定画面の上部右には表示されません。

[▶]を押してKIT25ページを表示させ、ジョグダイヤルを回して、以下の各設定を行ないます。



* コントロールチェンジ出力のオン/オフが“off”に設定されている場合、VolおよびPanの値は“---”表示となり設定できません。

● MIDIチャンネル

1~16.....コントロールチェンジの設定対象のMIDIチャンネル

● コントロールチェンジ出力のオン/オフ

on.....コントロールチェンジを出力します。
off.....コントロールチェンジを出力しません。

● ボリューム

0~127.....送信するボリュームコントロールチェンジのデータ値

● パン

0~127.....送信するパンコントロールチェンジのデータ値

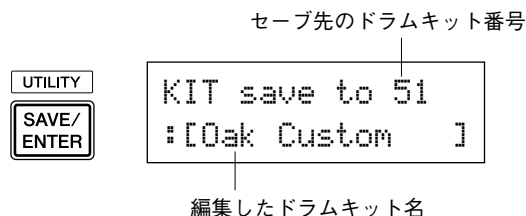
26 できあがったオリジナルのボイスを保存しよう

音作りのできたドラムボイスを、以下のセーブ操作で本体メモリーに保存しておきましょう。ユーザードラムキット(51~70)に、ドラムキット単位で保存することができます。

注記

- セーブをせずにドラムキットを切り替えると、編集内容は消えてしまいます。設定や変更をしたあとは必ず保存を行なってください。

26-1.[SAVE/ENTER]を押します。以下のような画面が表示されます。



26-2.ジョグダイヤルを回して、セーブ先のユーザードラムキット番号(51~70)を指定します。

- プリセットドラムキット(1~50)にはセーブすることはできません。
- すでにデータがあるユーザードラムキット番号にセーブすることもできます。ただしその場合は新しい内容に書き換えられてしまいます。ご確認の上で実行してください。

- 26-3.ドラムキット名を変更する場合は、[◀]/[▶]を押して変更したい文字を点滅表示させ、ジョグダイヤルを回して文字を選びます。ドラムキット名は最大12文字まで付けることができます。
使用できる文字は以下のとおりです。(表示順)

```
スペース
!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[^\`_
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~
```

- 26-4.[SAVE/ENTER]を押すと、セーブ実行の確認を求め画面が表示されます。

```
KIT save to 51
Are you sure ?
```

- 26-5.[SAVE/ENTER]を押すと、セーブが実行されます。

* セーブをキャンセルする場合は、[SAVE/ENTER]、[SHIFT]以外のすべてのボタン(“Are you sure”画面ではジョグダイヤルも含む)のうちいずれかを押しします。

セーブが完了すると、以下の画面が表示されます。

```
Completed!
```

これでオリジナルボイスのバスドラムを持ったドラムキットができました。

同様の手順で、他のパッド(入力ソース)のドラムボイスも作って、自分だけのドラムキット作りにチャレンジしてみてください。

ファクトリーセット

DTX500の内部の設定をすべて、工場出荷時の状態に戻す機能です。

ファクトリーセットを実行すると、現在DTX500に設定されている内容(全クリックセット、ユーザートリガーセットアップ(No.8～11)、ユーザードラムキット(No.51～70)、ユーザーソング(No.64～83)、ユーティリティ情報)はすべて工場出荷時の内容に書き替えられてしまいますので、ご確認の上で実行してください。

● 設定手順

1. [SHIFT]+[SAVE/ENTER]を押して、ユーティリティ画面を表示させます。



2. [▶]を数回押してUTIL8の設定画面を表示させます。

```
UTIL8
◀ Factory Set
```

3. 上記画面で[SAVE/ENTER]を押すと、ファクトリーセット実行の確認を求め画面が表示されます。

* ファクトリーセットをキャンセルする場合は、[SAVE/ENTER]、[SHIFT]以外のすべてのボタン(ジョグダイヤルも含む)のうちいずれかを押しします。

```
All data will be
lost.AreYouSure?
```

4. ここでもう一度[SAVE/ENTER]を押すと下記の表示が出てファクトリーセットが実行されます。

```
All Memory
Initializing...
```

8 トリガーセットアップの設定

トリガーセットアップデータとは、トリガー入力端子に接続したパッドやドラムトリガー（ヤマハDT20など）からのトリガー入力信号を、DTX500で内部処理するのに適性な信号に調整するためのデータです。セットに付属された以外のパッドやアコースティックドラムにドラムトリガーを装着したものをお使いの場合は、トリガー入力ごとに感度の調整を行なう必要があります。また、クロストーク*やダブルトリガー*を防止するための設定も行ないます。

- * クロストーク：隣接した端子間でトリガー信号が混じり合うこと。
- * ダブルトリガー：1回のショットに対してトリガー信号を2回発すること。二度鳴り。

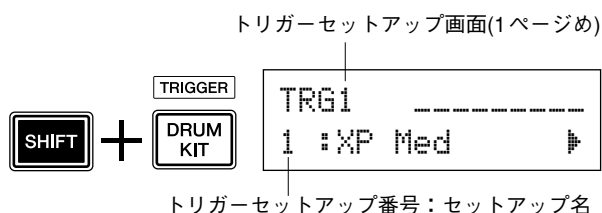
トリガーセットアップの設定手順

お手持ちのセット以外のパッドやドラムトリガーを接続した場合や、ダブルトリガーやクロストークの解消のために、プリセットのトリガーセットアップを修正したり、個々のパッドごとに詳細な設定を行なうことができます。

また、そうして設定したカスタムセットアップは、トリガーセットアップのNo. 8～11に保存しておくことができます。

1 [SHIFT]+[DRUM KIT]を押して、トリガーセットアップ選択画面(TRG1 ページ)を表示させます。現在設定されているトリガーセットアップが表示されます。

- * 別のトリガーセットアップを設定する場合は、ここでジョグダイヤルを回してトリガーセットアップを選びます。

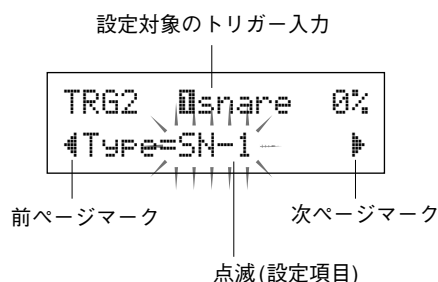


2 トリガーセットアップの設定は、TRG2～TRG8の設定画面で行ないます。

[◀]/[▶]を押して表示ページを切り替え、設定したい項目を点滅させます。

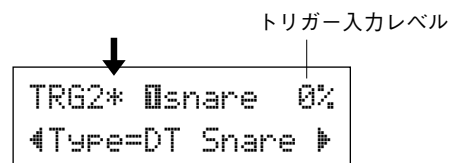
- * 各項目について詳しくは、35ページ～をご覧ください。

設定対象のトリガー入力(入力端子)の切り替えは、目的のパッドを叩くか[SHIFT]+[◀]/[▶]で行ないます。



3 ジョグダイヤルを回して、設定を変更します。

- * データの設定を変更すると、“TRG”表示のあとに“*”が表示されます。セーブを実行するとこの表示は消えます。
- * 上段右にはパッドを叩いたときのトリガー入力レベルが表示されます。ゲイン設定などの際に叩く強さの目安にしてください。

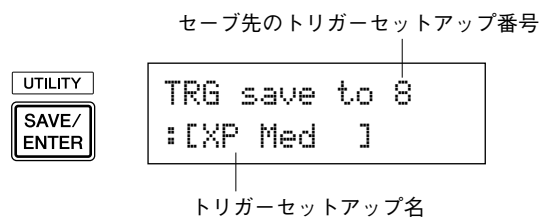


4 変更した設定を保存しておく場合は、以下の手順でユーザートリガーセットアップ(No. 8～11)にセーブします。

注記

- セーブをせずにトリガーセットアップを切り替えると、設定内容は消えてしまいます。設定や変更をしたあとは必ず保存を行なってください。

4-1. [SAVE/ENTER]を押します。以下のような画面が表示されます。



4-2. ジョグダイヤルを回して、セーブ先のトリガーセットアップ番号(8～11)を指定します。

4-3. トリガーセットアップ名を変更する場合は、[◀]/[▶]を押して変更したい文字を点滅表示させ、ジョグダイヤルを回して文字を選びます。トリガーセットアップ名は最大8文字まで付けることができます。使用できる文字は以下のとおりです。(表示順)

スペース
!"#\$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@
ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ[¥]^_`
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~`

- 4-4. [SAVE/ENTER]を押すと、セーブ実行の確認を求め
る画面が表示されます。

```
TRG save to 8
Are you sure ?
```

- 4-5. [SAVE/ENTER]を押すと、セーブが実行されます。

- * セーブをキャンセルする場合は、[SAVE/ENTER]、
[SHIFT]以外のすべてのボタン(“Are you sure”画面
ではジョグダイヤルも含む)のうちいずれかを押し
ます。

セーブが完了すると、以下の画面が表示されます。

```
Completed!
```

注記

- ・ “now storing ...” 表示中は、絶対に電源を切らない
てください。すべてのトリガーセットアップデータが失わ
れるおそれがあります。

各設定画面の説明

ここではTRG1～TRG8までの各画面で設定できる内容について
説明します。

設定した内容を保存するには、34ページの手順4をご覧ください。

TRG1 トリガーセットアップ選択

```
TRG1 -----
1 :XP Med      ▶
```

【設定範囲】 1～11

トリガーセットアップタイプを選択します。(12ページ)

TRG2 Type(パッドタイプ)

```
TRG2 Snare 0%
Type=SN-1    ▶
```

上段で指定している入力端子(上の例では①SNARE端子)に接続
しているパッドの種類を設定します。

- * 「TRG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」(36ページ)、「TRG5 セ
ルフリジェクションタイム」(36ページ)の値は、ここで設定
したパッドタイプに最適な値に自動設定されます。

NOTE

- ・ お持ちのセットから一部のパッドを変えて使う場合などは、上
記の設定後『トリガーセットアップの設定』(34ページ)の手順
に従って、感度などを各パッドに適した設定に変更しましょう。

各パッドタイプ表示の意味は以下のとおりです。

| | |
|----------|--|
| KICK | KP125W/125/80S/80/65/60 |
| SN-1 | XP100T/100SD/120T/120SD (主にスネアパッドとして使用) |
| SN-2 | TP100/120SD(主にスネアパッドとして使用) |
| SN-3 | TP65S/65(主にスネアパッドとして使用) |
| TM-1 | XP100T/100SD/120T/120SD (主にタムパッドとして使用) |
| TM-2 | TP100/120SD(主にタムパッドとして使用) |
| TM-3 | TP65S/65(主にタムパッドとして使用) |
| CY-1 | PCY155/150S/135 *1 |
| CY-2 | PCY155/150S/135 *1 |
| CY-3 | PCY155/150S/135 *1 |
| CY-4 | PCY130SC |
| CY-5 | PCY130S/130 |
| CY-6 | PCY65S |
| HH-1 | RHH135 |
| HH-2 | RHH130 |
| DT Snare | ドラムトリガー DTシリーズ(スネアドラム用) |
| DT HiTom | ドラムトリガー DTシリーズ(ハイタム用) |
| DT LoTom | ドラムトリガー DTシリーズ(ロータム用) |

DT Kick ドラムトリガーDTシリーズ(キックドラム用)
misc 1~6 他社製パッド1

- *1 パッド部、エッジ部、カップ部の感度設定が異なります。お好みに応じて変更してください。
“CY-1”は、感度を均等にしています。
“CY-2”は、エッジ部の感度を低めにしています。
“CY-3”は、カップ部の感度を低めにしています。

TRG3 Gain(ゲイン)、MVI(ミニマムベロシティ)

```
TRG3 0snare 0%
◀Gain=65MVI= 12▶
```

Gain 【設定範囲】0~99

上段で指定している入力端子の入力ゲイン(感度)を調整します。値が大きいほど小さい入力でも発音します。

- * 先に「TRG2 パッドタイプ」で正しいパッドタイプに設定し、この値を自動設定したあとで微調整を行なってください。
- * 感度調整ツマミが付いているパッドもあります。パッドに付属の取扱説明書をご覧ください。

MVI 【設定範囲】1~127

最も弱くパッドを叩いたときに出力するMIDIベロシティ(音量)を設定します。値が大きいほど小さい入力でも大きな音量で発音しますが、音量の変化幅が狭くなるのでショットの強弱による音量の表現幅が狭くなります。

パッドを叩くと、画面上段右にトリガーの入力レベルが%で表示されます。最大入力時(入力レベル99%)のベロシティが127となります。最も弱く叩いたときのレベルが低いほどショットの強弱による音量の変化幅が広がります。

- * 先に「TRG2 パッドタイプ」で正しいパッドタイプに設定し、この値を自動設定したあとで微調整を行なってください。

TRG4 VelCurve(ベロシティカーブ)

```
TRG4 0snare 0%
◀VelCurve=norm ▶
```

上段で指定している入力端子のベロシティカーブを設定します。



TRG5 RejTime(セルフリジェクションタイム)

```
TRG5 0snare 0%
◀ RejTime=1 ▶
```

【設定範囲】0~9

上段で指定している入力端子の、ダブルトリガーの発生を防止します。入力を感じたら、その後一定時間トリガー情報を検出しません。値が大きいほど検出しない時間が長くなります。

TRG6 RejLvlAll(リジェクションレベル)

```
TRG6 0snare 0%
◀ RejLvlAll=2 ▶
```

【設定範囲】0~9

上段で指定している入力端子の、クロストークの発生を防止します。他のパッド(入力端子)によるトリガー情報が発生後一定時間以内に、ここで指定した値に達しない入力レベルのトリガーに対してはトリガー情報を発生しません。値が大きいほど強く叩かないとトリガー情報を発生しません。

TRG7 RejLvl(指定リジェクションレベル)

```
TRG7 0snare 0%
◀RejLvl=3Frm=56▶
```

RejLvl 【設定範囲】0~9

Frm 【設定範囲】1~6、56(5および6)、7~12、17(1および7)、tm、cy、tc

上段で指定している入力端子と“Frm”で指定した入力端子との間でのクロストークを防止します。

“Frm”で指定した入力端子のパッドにトリガー情報が発生後一定時間以内に、上段で指定した入力端子のパッドの入力レベルが、ここで指定した値以上でないとトリガー情報を発生しません。値が大きいほど強く叩かないとトリガー情報を発生しません。

“Frm=“56”に設定するとトリガー入力端子5、6を指定できます。

“Frm=“17”に設定するとトリガー入力端子1、7を指定できます。

“Frm=“tm”に設定するとトリガー入力端子2、3、4を指定できます。

“Frm=“cy”に設定するとトリガー入力端子5、6、7、9を指定できます。

“Frm=“tc”に設定するとトリガー入力端子2、3、4、5、6、7、9を指定できます。

TRG8 CopyToInput(トリガーセットアップコピー)

```
TRG8  ▣snare
◀CopyToInput= 2▶
```

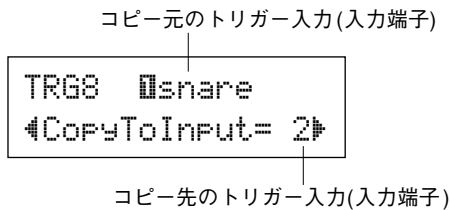
「TRG2 パッドタイプ」～「TRG7 指定リジェクションレベル」の設定内容すべてを、他の入力端子の設定にコピーする機能です。

注記

- ・トリガーセットアップコピーを実行すると、コピー先入力端子のトリガーセットアップの内容はすべてコピー元の内容に書き替えられてしまいます。

設定手順

1. コピー元のトリガー入力(入力端子)を、パッドを叩いて選択します。
ジョグダイヤルを回して、コピー先のトリガー入力(入力端子)を指定します。



2. [SAVE/ENTER]を押すと、コピー実行の確認を求める下の画面が表示されます。

```
Input Copy to 2
Are you sure ?
```

3. [SAVE/ENTER]を押すと、コピーが実行されます。
* コピーをキャンセルする場合は、[SAVE/ENTER]、[SHIFT]以外のすべてのボタン(ジョグダイヤルも含む)のうちいずれかを押します。

コピーが終了すると、以下の画面が表示されます。

```
Completed!
```

エラーメッセージ一覧

設定や操作が正しくない場合や、動作において異常が発生した場合、LCDディスプレイ(画面)にエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージの内容を確認し、正しく設定/操作するなど、対処してください。

ERROR
Data Initialized

電源を入れたとき、正常に情報を読み込めなかったため、ファクトリーセットを行ないました。

バックアップROMのデータが破損している可能性があります。お買い上げのお店か、お近くのヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

ERROR
Memory full

ユーザーソングのメモリーの容量が足りません。

不要なユーザーソングは削除してメモリー内に空きを作ってから録音してください。

ERROR
Can't Write Memory

バックアップROMへのデータ書き込みに失敗しました。

困ったときは

DTX500が発音しない、または打撃を検出しない

- パッド、またはドラムトリガー(ヤマハDT20など)が正しくDTX500のトリガー入力端子に接続されていますか？(10ページ)
- DTX500とヘッドフォンやアンプ/スピーカーなどの外部機器とは正しく接続されていますか？(10ページ)
- DTX500に接続しているアンプ/スピーカーの電源は入っていますか？またボリュームは下がっていませんか？
- リアパネルのマスターボリューム(VOLUME)が下がっていませんか？(13ページ)
- ゲインの設定が低すぎませんか？(36ページ：「TRG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」)
- ドラムキット画面の「KIT3 ボリューム」(27ページ)の画面で「Volume=0」になっていませんか？
- 使用しているケーブルが不良ではありませんか？
- レイヤー Ⅱ、Ⅲ 共にドラムボイスが「00:NoAssign」になっていませんか？(27ページ：手順2「KIT2画面」)

外部の音源が発音しない

- MIDIケーブル(コネクター)は正しく接続されていますか？(11ページ)
- MIDIコネクターが一致していますか？(11ページ)
- MIDIノートナンバーは適切な値になっていますか？(28ページ：手順8「KIT8画面」、9「KIT9画面」、10「KIT10画面」)
- レイヤー Ⅱ、Ⅲ 共にドラムボイスが「00:NoAssign」になっていませんか？(27ページ：手順2「KIT2画面」)

設定とは違う音で鳴ってしまう

- 出力するMIDIチャンネルがドラムボイス(ch=10)以外になっていませんか？(28ページ：手順9「KIT9画面」)
- ドラムキット画面のボイス設定で2音(2レイヤー)鳴るようになっていませんか？(27ページ：手順2「KIT2画面」)

音は出るが感度が低い(音が小さい)

- ゲインの設定が低すぎませんか？(36ページ：「TRG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」)
- パッドにレベル調節つまみなどがある場合は、(上げる方向で)調整してください。
- ミニマムベロシティの設定が低すぎませんか？(36ページ：「TRG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」)
- ベロシティカーブは適切ですか？(36ページ：「TRG4 ベロシティカーブ」)
- 発音させようとするボイスのボリュームが小さすぎませんか？(27ページ：手順3「KIT3画面」)

安定したトリガーができない(アコースティックドラムの場合)

- 前記の“音は出るが感度が低い”の項目をチェックしてください。
- パッドタイプは適切ですか？より大きなサイズのドラム用のパッドタイプ(DT snare→DT HiTom→DT LoTom→DT Kick)に変更してみてください。(35ページ：「TRG2 パッドタイプ」)
- ドラムトリガー(ヤマハDT20など)はしっかりと粘着テープで固定されていますか？(古い粘着テープが残っていませんか？)

- ケーブルはしっかりとドラムトリガー(ヤマハDT20など)のジャックに接続されていますか？

ダブルトリガー(二度鳴り)を起こす

- パッドにレベル調節つまみなどがある場合は、(下げる方向で)調整してください。
- ゲインの設定が高すぎませんか？(36ページ：「TRG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」)
- セルフリジェクションを設定してください。(36ページ：「TRG5 セルフリジェクションタイム」)
- [キックパッドの場合]パッドタイプがキックパッド用以外になっていませんか？(35ページ：「TRG2 パッドタイプ」)
- ヤマハ以外のドラムトリガー(トリガーセンサー)を使用していますか？信号が大きいとダブルトリガーを起こします。
- ヘッドが不規則な振動を起こしていませんか？ミュートする必要があります。
- ヘッドの中心近くにドラムトリガー(ヤマハDT20など)を取り付けていませんか？リムに近いところが適切です。
- ドラムトリガー(ヤマハDT20など)に何か触れていませんか？

クロストーク(端子間での音の混ざり合い)を起こす

- ゲインの設定が高すぎませんか？(36ページ：「TRG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」)
- リジェクションの値を高くしてみてください。ただしこの値を高くしすぎると、他のパッド(トリガー入力)と同時に叩いたときに発音しないなどの問題が生じる可能性があります。(36ページ：「TRG6 リジェクションレベル」)
- 特定のトリガー入力音色とクロストークする場合は指定リジェクションを使ってください。(36ページ：「TRG7 指定リジェクションレベル」)
- ドラムトリガー(ヤマハDT20など)をお使いの場合は、ドラムトリガーを隣のドラムから離れた位置に取り付けてください。

連打したときに音が途切れてしまう

- 発音数が32音を越えているかもしれません。ドラムキット画面の「KIT15 キーアサインモード」(29ページ)の画面で、「KeyAssign」の値を“semi”または“mono”にしてみてください。

2つのパッド(ドラム)を同時に叩いたとき、1つしか鳴らない

- 鳴らないほうのパッド(トリガー入力)のゲインを高くしてみてください。(36ページ：「TRG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」)
- 鳴らないほうのパッド(トリガー入力)のリジェクションの値を小さくしてみてください。(36ページ：「TRG6 リジェクションレベル」)
- 鳴らないほうのパッド(トリガー入力)の指定リジェクションレベルの値を小さくしてみてください。(36ページ：「TRG7 指定リジェクションレベル」)
- 両方のパッド(トリガー入力)のオルタネートグループが同じに設定されていませんか？(29ページ：手順14「KIT14画面」)

大きな音しか鳴らない

- ミニマムベロシティの最小値が大きすぎませんか？(36ページ：「TRG3 ゲイン、ミニマムベロシティ」)
- ベロシティカーブは適切ですか？(36ページ：「TRG4 ベロシティカーブ」)
- ヤマハ以外のパッドを使用していませんか？メーカーによっては出力が大きいものがあります。

DTX500がすべてのスイッチやトリガー入力を受け付けなくなった

- ユーティリティ機能が使える場合は、ファクトリーセットを行ってください。初期状態に戻ります。(33ページ：「UTIL8 ファクトリーセット」)
- [◀]と[▶]を同時に押しながら電源スイッチ(⏻)を入れ直してください。初期状態に戻ります。

音が鳴りやまない

- MIDIキーオフ認識を“disable”に認定した場合(28ページ：手順11「KIT11画面」)、音色によっては極端に長いものがあります。一時的に音を消すには、[DRUM KIT]を押します。

パッドコントロール機能が使えない/正しく動作しない

- TP100やTP120SDのようなパッドコントロール付きのパッドを接続していますか？
- パッドコントローラーは正しく設定されていますか？(15ページ：「パッドコントローラーの設定」)

ハイハットクローズ音が鳴らない

- パッドタイプは適切ですか？ハイハットコントローラーとしてRHH135/130をお使いの場合、パッドタイプを“RHH”に設定する必要があります。(35ページ：「TRG2 パッドタイプ」)

シンバルパッドでエッジ部やカップ部の音が出ない/チョーク奏法ができない

- パッドタイプは適切ですか？接続したシンバルパッドに適したシンバルパッド用パッドタイプを選んでください。(35ページ：「TRG2 パッドタイプ」)
- トリガー入力端子⑨～⑫に接続するスイッチ付きパッド(PCY135/155など)のエッジ部とカップ部の音色は発音されません。

フットブラッシュ奏法ができない

- フットコントローラーはHI HAT CONTROL端子に接続してありますか？
- フットブラッシュの検出時間を調節してください。(14ページ：「ハイハットの調整」)

ファクトリーセット(初期化)をしたい

- DTX500の内部の設定を工場出荷時の状態に戻します。(33ページ：「ファクトリーセット」)

索引

記号

| | |
|----------|----------------|
| | 13 |
| | 13 |
| [◀, ▶] | 8 |
| [ON/OFF] | 8, 16 |
| * | 14, 15, 16, 27 |
| | 13 |
| | 20 |

数字

| | |
|----------|-------|
| 2 バスドラム | 12 |
| 3 ゾーンパッド | 9, 12 |

アルファベット

| | |
|----------------------|------------|
| AUX IN 端子 | 9, 11 |
| [CLICK] | 8 |
| CopyToInput | 37 |
| DC IN 12V 端子 | 9, 10 |
| [DRUM KIT] | 8 |
| DT20 | 12, 34, 38 |
| Gain | 36 |
| HI HAT CONTROL 端子 | 9 |
| LCD ディスプレイ | 8, 41 |
| LED ディスプレイ | 8, 19 |
| MIDI | 11 |
| MIDI OUT 端子 | 9, 11 |
| MIDI インプリメンテーションチャート | 44 |
| MIDI キーオフ | 28 |
| MIDI チャンネル | 28 |
| MIDI データフォーマット | 47 |
| MIDI ノートナンバー | 28 |
| MVI | 36 |
| OUTPUT 端子 | 9, 11 |
| PHONES 端子 | 9, 11 |
| RejLvl | 36 |
| RejLvlAll | 36 |
| RejTime | 36 |
| [SAVE/ENTER] | 8 |
| [SHIFT] | 8 |
| [SONG ▶/■] | 8, 20 |
| Type | 35 |
| VelCurve | 36 |
| VOLUME | 9, 13 |
| Y 字ケーブル | 9, 12 |

あ

| | |
|-------------|--------|
| アコースティックドラム | 10, 38 |
| エラーメッセージ | 38 |
| オルタネートグループ | 29 |
| 音質 | 14 |
| 音色 | 28 |
| 音量 | |
| クリック | 16 |
| コントロールチェンジ | 32 |
| 全体 | 9, 13 |
| ソング | 20 |
| ドラムボイス | 27 |
| パッド | 13 |
| ヘッドフォン | 11 |

か

| | |
|----|------------|
| 画面 | 8, 41 |
| 感度 | 12, 36, 38 |

| | |
|---------------|------------|
| キーアサインモード | 29 |
| キックパッド | 12 |
| クオンタイズ | 24 |
| クリック | 16 |
| クリックアウトセレクト | 18 |
| クリックサウンドセット | 17 |
| クリックセット | 16, 17 |
| クリックセット名変更 | 18 |
| クリックタイマー | 16, 19 |
| クリックマスターボリューム | 16 |
| クリックメジャーブレイク | 17 |
| クリックランプ | 8 |
| グループチェック | 22 |
| クローズポイント | 14 |
| クロストーク | 34, 36, 39 |
| クロスフェード | 29 |
| ゲイン | 36 |
| ゲートタイム | 28 |
| コードフック | 9, 10 |
| コピー | 37 |
| コントロールチェンジ | 32 |

さ

| | |
|---------------|------------|
| 再生モード | 30 |
| 指定リジェクションレベル | 36 |
| 仕様 | 47 |
| 消音 | 17, 20 |
| 消去 | 25 |
| ジョグダイヤル | 8 |
| スイッチ付きパッド | 9, 12 |
| 数値表示モード | 22 |
| ステレオパッド | 9 |
| ステレオフォーンプラグ | 9 |
| スナッピー | 15, 31 |
| スピーカー | 10 |
| セーブ | 18, 32, 34 |
| 接続 | 10 |
| セルフリジェクションタイム | 36 |
| ソング | 20 |
| ソング名変更 | 25 |
| ソングリスト | 46 |

た

| | |
|---------------|----------------|
| タップテンポ | 19 |
| ダブルトリガー | 34, 36, 39 |
| チャレンジモード | 22 |
| チューニング | |
| クリック | 17 |
| ソング | 20 |
| ドラムボイス | 27 |
| パッドコントローラー | 15 |
| ディケイ | 28 |
| 電源 | 9, 10, 11 |
| 電源スイッチ | 9 |
| テンポ | 15, 16, 19, 20 |
| トップパネル | 8 |
| ドラムキット | 13, 26 |
| ドラムキット名変更 | 33 |
| ドラムキットリスト | 46 |
| ドラムボイス | 26 |
| ドラムボイスリスト | 45 |
| トリガーセットアップ | 12, 34, 35 |
| トリガーセットアップコピー | 37 |
| トリガーセットアップ名変更 | 34 |

| | |
|-----------|----|
| トリガー入力ソース | 26 |
| トリガー入力端子 | 9 |

な

| | |
|-------|----|
| 入力レベル | 13 |
|-------|----|

は

| | |
|-------------|---------------|
| ハイハットコントロール | 9 |
| ハイハットペダル | 14 |
| パッド | 26 |
| パッドコントローラー | 9, 12, 15, 31 |
| パッドソング | 13, 30 |
| パッドタイプ | 35 |
| パッドファンクション | 21 |
| パン | 27, 32 |
| バンクセレクト | 32 |
| ビート | 16 |
| 拍子 | 16 |
| ファクトリーセット | 33 |
| フィルター | 28 |
| 付属品 | 5, 47 |
| フットコントローラー | 14 |
| フットスブラッシュ | 14, 39 |
| プログラムチェンジ | 32 |
| ベースソロ | 21 |
| ヘッドフォン | 9, 10 |
| ペロシティカーブ | 36 |
| ボイスの分類 | 17, 27, 45 |
| ホールドモード | 28 |
| 保存 | 18, 32, 34 |

ま

| | |
|------------|--------|
| マスターイコライザー | 14 |
| ミニマムペロシティ | 36 |
| ミュート | 17, 20 |
| メトロノーム | 16 |

や

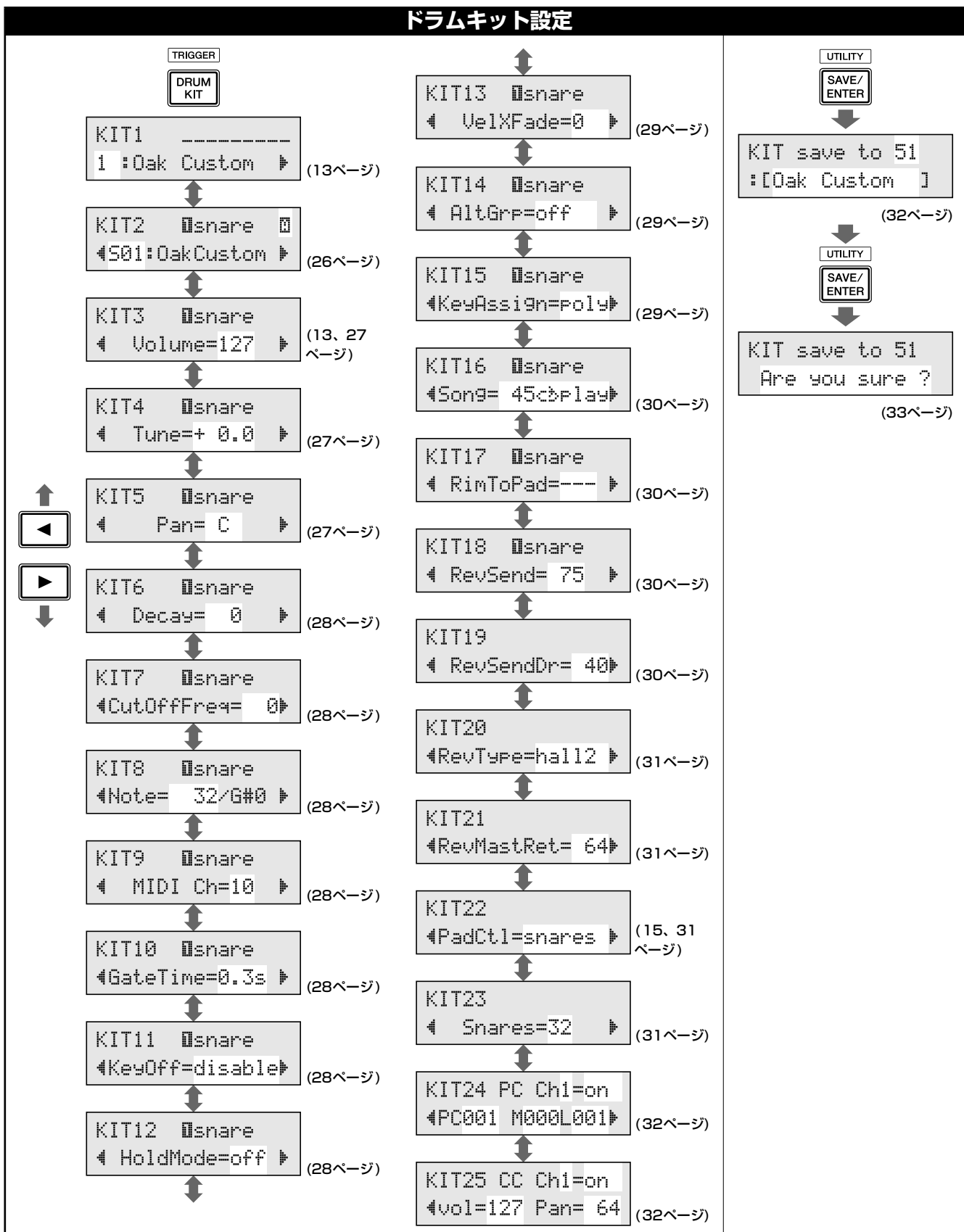
| | |
|----------------|----|
| ユーザークリックサウンド | 17 |
| ユーザーソング | 25 |
| ユーザードラムキット | 32 |
| ユーザートリガーセットアップ | 34 |
| ユーティリティ | 14 |

ら

| | |
|------------|------------|
| リアパネル | 9 |
| リジェクションレベル | 36 |
| リズムゲート | 22, 23 |
| リバーブ | 30, 31 |
| リバーブタイプ | 31 |
| リピート | 30 |
| リムショット | 30 |
| リムトゥパッド | 30 |
| レイヤー | 13, 27, 29 |
| 録音 | 24 |

LCDディスプレイ(画面)一覧

* この「LCDディスプレイ(画面)一覧」は、表示されるページを説明するためのもので、図中の矢印の順にページを進めても、ここに記載されている画面と実際の表示画面とで内容が異なる場合があります。



ソング選択

REC

SONG

↑

←

→

↓

SONG1 J=123 ◀▶

1 :Demo 1 ▶▶▶ (20ページ)

↕

SONG2 Clear

◀Are You Sure ? (25ページ)

*表示はユーザー
ソングを選択
している場合

UTILITY

SAVE/ENTER

SONG save name

: [Untitled] (25ページ)

↓

UTILITY

SAVE/ENTER

SONG save name

Are you sure ? (25ページ)

ソング録音

REC

SHIFT + SONG

↑

←

→

↓

REC J=120

Beat=4 Quant=J (24ページ)

↓

REC

SONG

REC Meas= 10

Now Recording. (24ページ)

グループチェック機能

GRV.CHECK

SHIFT + CLICK

↑

←

→

↓

GRV1 ---◡◢---

J=130 Gr=-2±0.0▶ (22ページ)

チャレンジモード時

↑

←

→

↓

GRV1 ---◡◢---

80Hits/ 16%(D+)▶ (22ページ)

↕

GRV2 RhythmGate

◀Mode=challenge▶ (23ページ)

↕

GRV3

◀ Input=◡snare ▶ (23ページ)

↕

GRV4

◀ Note=J(4) (23ページ)

クリック設定

GRV.CHECK

CLICK

↑

←

→

↓

CLK1 0 B=4 ◡▶

1 :User J=130▶ (16ページ)

↕

CLK2 Att=9 J=9

◀ V=6 VV=4 J=2 ▶ (17ページ)

↕

CLK3 MeasBreak

◀Meas=1 Brk=3 ▶ (17ページ)

↕

CLK4 Sound

◀ 1:Metronome ▶ (17ページ)

↕

CLK5 Sound=J

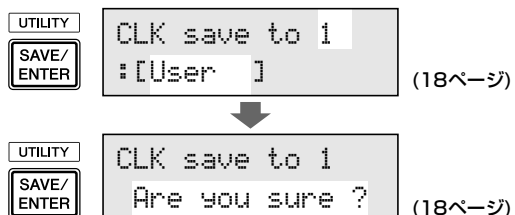
◀E20:Click1 ▶ (17ページ)

↕

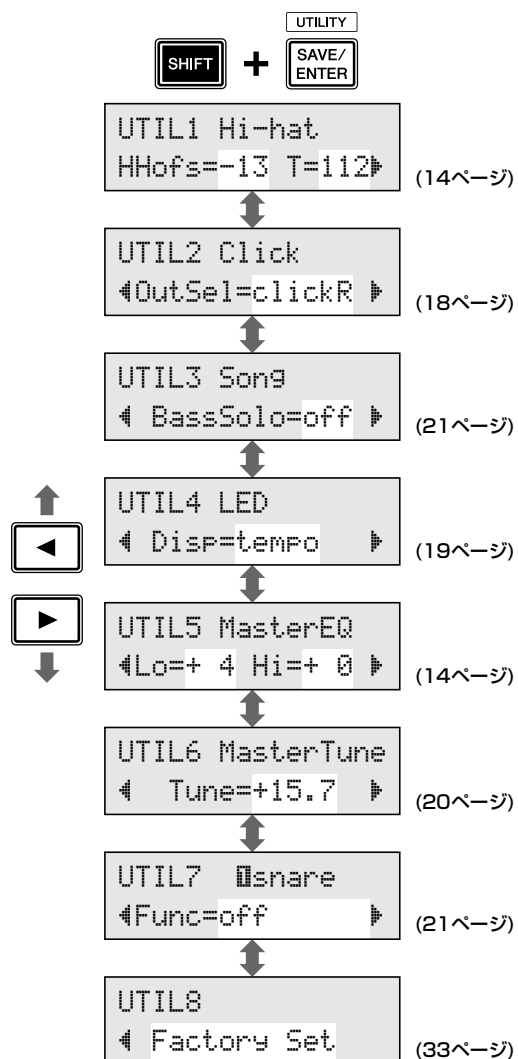
CLK6 Sound=J

◀ Tune=+ 0.0 (17ページ)

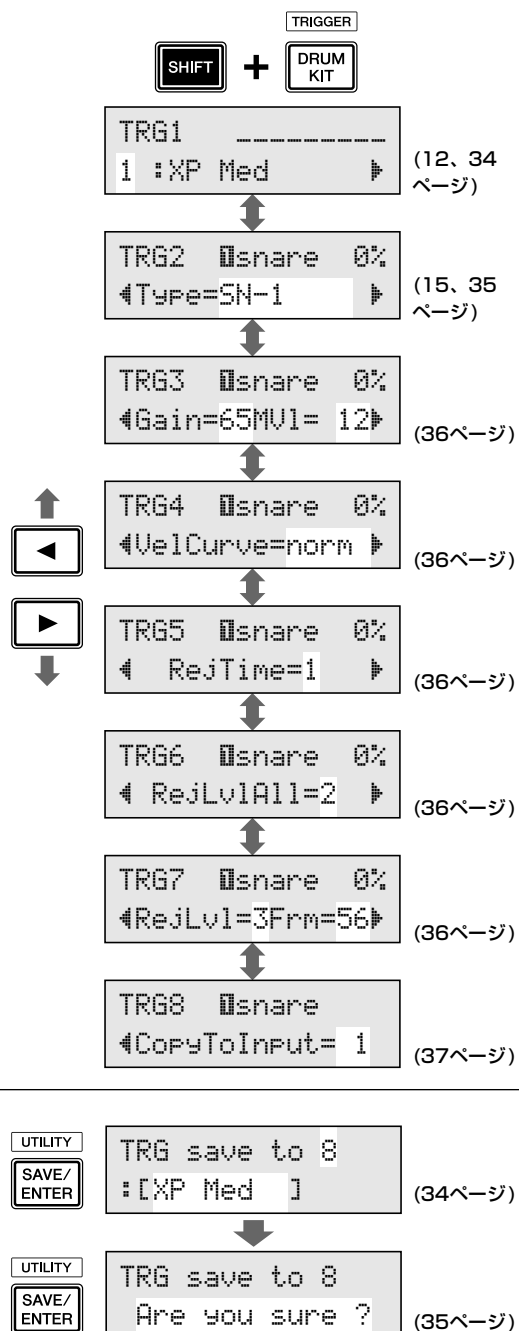
クリック設定



ユーティリティ設定



トリガーセットアップ設定



タップテンポ機能



YAMAHA [DRUM TRIGGER MODULE]
Model DTX500 MIDI Implementation Chart

Date :7-Dec-2009
Version : 1.0

| Function ... | Transmitted | Recognized | Remarks |
|---|--|--------------------------------------|-------------|
| Basic Default Channel Changed | 1 - 16 1 - 16 | x x | memorized |
| Mode Default Messages Altered | x x ***** | x x x | |
| Note Number : True voice | 0 - 127 ***** | x x | |
| Velocity Note ON Note OFF | o 9nH,v=1-127 x 9nH,v=0 | x x | |
| After Key's Touch Ch's | x x | x x | |
| Pitch Bender | x | x | |
| Control Change | 0,32 o 4,7,10 o 1,2,5,6,8,11,12,13 x 16-19 x 33-63 x 64-84 x 91-95 x 96-101 x | x x x x x x x x | Bank Select |
| Prog Change : True # | o 0 - 127 ***** | x x | |
| System Exclusive | o | x | |
| Common : Song Pos. : Song Sel. : Tune | x x x | x x x | |
| System :Clock Real Time :Commands | o o | x x | |
| Aux :All Sound Off :Reset All Cntrls :Local ON/OFF Mes- :All Notes OFF sages:Active Sense :Reset | x o x x o x | x x x x x x | |
| Notes: | | | |

Mode 1 : OMNI ON, POLY Mode 2 : OMNI ON, MONO o : Yes
Mode 3 : OMNI OFF, POLY Mode 4 : OMNI OFF, MONO x : No

ドラムボイスリスト

● ドラムボイスの分類

K : キック
S : スネア
T : タム
C : シンバル
H : ハイハット
P : パーカッション
E : 効果音

K : Kick

1 OakCustom
2 MapleCustm
3 MapleVintg
4 Beech
5 BirchDry
6 BirchJazz
7 DryDeep
8 DryTight 1
9 DryTight 2
10 SoTight
11 2Head
12 BigSofty
13 RockAmb 1
14 RockAmb 2
15 BD Room 1
16 BD Room 2
17 GateKick1
18 GateKick2
19 T8 Kick
20 T9 Kick
21 CR Kick
22 T9 HrdAtk
23 T9 Long
24 Sm Kick
25 T8 Down
26 T9 Dist
27 TechKick1
28 TechKick2
29 TechKick3
30 BreakKick1
31 BreakKick2
32 BreakKick3
33 BreakKick4
34 BreakKick5
35 BreakKick6
36 VoxKick
37 KickBass
38 ResoKick1
39 ResoKick2
40 DidgerKick
41 ReversBD

S : Snare

1 OakCustom
2 OakCusOpRm
3 OakCusClRm
4 OakCusOff
5 OakCusOffO
6 OakCusOffC
7 MapleCustm
8 MapCusOpRm
9 MapCusClRm
10 MplCusOff
11 MplCusOffO
12 MplCusOffC
13 Beech
14 BeechOpRim
15 BeechClRim
16 BeechOff
17 BeechOffOR
18 BeechOffCR
19 Metal
20 MetalOpRim
21 MetalClRim

22 MetalOff
23 MetalOffOp
24 MetalOffCl
25 MapleVtg
26 MapleVtgR
27 Loosy
28 LoosyRim
29 LiteWood
30 LiteWoodRm
31 RockAmb 1
32 RockAmb 2
33 RockAmb R
34 BirchDeep
35 BirchDeepR
36 Studio
37 StudioRim
38 MapleLite
39 MapleLiteR
40 DryMute
41 Brush
42 BrushRim
43 BrushOff
44 BrshOffRim
45 SnareRoll*
46 GateSnare1
47 GateSnare2
48 GateSnare3
49 GateSnare4
50 GateSnare5
51 T8 Snare1
52 T8 Snare2
53 T8 Rim
54 T9 Rim
55 Tek Snare
56 LoBitSnare
57 Sm Snare1
58 Sm Snare2
59 SynSnare
60 BreakSnr 1
61 BreakSnr 2
62 BreakSnr 3
63 BreakSnr 4
64 DB Snare1
65 DB Snare2
66 DB Snare3
67 DB Snare4
68 DB Snare5
69 DB Snare6
70 Snappy
71 R&BSnare1
72 R&BSnare2
73 R&BSnare3
74 VoxSnare1
75 VoxSnare2
76 GunSnare
77 ResoSnare1
78 ResoSnare2

T : Tom

1 OakCustomH
2 OakCustomM
3 OakCustomL
4 MapleCus H
5 MapleCus M
6 MapleCus L
7 BeechCus H
8 BeechCus M
9 BeechCus L
10 Studio H
11 Studio M
12 Studio L
13 RockAmb H
14 RockAmb M
15 RockAmb L
16 MapleAmb H

17 MapleAmb M
18 MapleAmb L
19 JazzTom H
20 JazzTom M
21 JazzTom L
22 BrushTom H
23 BrushTom M
24 BrushTom L
25 T8 Tom1 H
26 T8 Tom1 M
27 T8 Tom1 L
28 T8 Tom2 H
29 T8 Tom2 M
30 T8 Tom2 L
31 T9 Tom1 H
32 T9 Tom1 M
33 T9 Tom1 L
34 T9 Tom2 H
35 T9 Tom2 M
36 T9 Tom2 L
37 Sm Tom1 H
38 Sm Tom1 M
39 Sm Tom1 L
40 Sm Tom2 H
41 Sm Tom2 M
42 Sm Tom2 L
43 PulseTom H
44 PulseTom M
45 PulseTom L
46 VoxTom
47 E.BendTom
48 E.Talking
49 DidgeriTom
50 ReverseTom

C : Cymbal

1 Bright18
2 Bright18Eg
3 Bright18Cp
4 Warm16
5 Warm16Edge
6 Warm16Cup
7 Dark18
8 Dark18Edge
9 Dark18Cup
10 CrCustom17
11 CrLight17
12 CrFast16
13 CrFast14
14 Bright20
15 Bright20Eg
16 Bright20Cp
17 Warm20
18 Warm20Edge
19 Warm20Cup
20 Dark20
21 Dark20Edge
22 Dark20Cup
23 RideCool
24 RideCoolCp
25 RideDry
26 RideDryCup
27 SizzleRide
28 SizzRideEg
29 SizzRideCp
30 ChinaHi
31 ChinaLoCtr
32 ChinaLoEg
33 Splash 1
34 Splash 2
35 Trash 1
36 Trash 2
37 T8 Crash
38 T9 Crash
39 T8 Ride

40 T9 Ride
41 ElecCymbal
42 NoiseCym1
43 NoiseCym2
44 VoxCymbal1
45 VoxCymbal2
46 ReverseCym

H : Hi-Hat

1 Dark14 Opn
2 Dark14 OpE
3 Dark14 Cls
4 Dark14 ClE
5 Dark14 Ft
6 Dark14 Sp
7 Dark13 Opn
8 Dark13 OpE
9 Dark13 Cls
10 Dark13 ClE
11 Dark13 Ft
12 Dark13 Sp
13 Bright14Op
14 Bright14OE
15 Bright14Cl
16 Bright14CE
17 Bright14Ft
18 Bright14Sp
19 Warm13Opn
20 Warm13OpE
21 Warm13Cls
22 Warm13ClE
23 Warm13Ft
24 Warm13Sp
25 Tight12Opn
26 Tight12OpE
27 Tight12Cls
28 Tight12ClE
29 Tight12Ft
30 Tight12Sp
31 T8 HH Opn
32 T8 HH Cls
33 T9 HH Opn
34 T9 HH Cls
35 CR HH Opn
36 CR HH Cls
37 Break HHOp
38 Break HHCl
39 Brack HHFt
40 NoiseHHOpn
41 NoiseHHCls

P : Percussion

1 CongaHiOpn
2 CongaHiSlp
3 CongaHiOSw
4 CongaHiTip
5 CongaHiHel
6 CongaLoOpn
7 BongoHi
8 BongoLo
9 TimbalHi
10 TimbalLo
11 PailaHi
12 PailaLo
13 SurdoOpn
14 SurdoMt
15 SurdoHO
16 SurdoSw
17 PandieroOp
18 PandieroMt
19 PandieroSl
20 Tambarin1
21 Tambarin2
22 Tambarin3
23 Cowbell 1

24 Cowbell 2
25 Cowbell 3
26 Cowbell3Mt
27 Cowbell 4
28 Cowbell4Mt
29 Claves
30 Maracas
31 Vibraslap
32 Castanet
33 TriangleOp
34 TriangleCl
35 TriangleHO
36 TriangleSw
37 GuiroShort
38 GuiroLong
39 Agogo Hi
40 Agogo Lo
41 WoodBlockH
42 WoodBlockL
43 Shaker1
44 Shaker2
45 Caxixi1
46 Caxixi2
47 DjembeOpen
48 DjembeSlap
49 DjembeMute
50 CajonLo
51 CajonHi
52 CajonSlp
53 TalkDrOp
54 TalkDrMt
55 TalkDrSlp
56 TalkDrBend
57 PotDrOpn
58 PotDrCls
59 PotDrMute
60 PotDrBody
61 TablaOpen1
62 TablaOpen2
63 TablaMute
64 TablaSlp
65 BayaOpn
66 BayaMute
67 BayaBend
68 CuicaHi
69 CuicaLo
70 WhistleH
71 WhistleL
72 SleighBell
73 BellTree
74 WindChime
75 TimpaniF#2
76 Timpani B1
77 Timpani E1
78 ConctBDop
79 ConctBDmt
80 HandCymOp
81 HandCymMt
82 Gong
83 ChinaGong
84 Odaiko
85 OdaikoRim
86 Yagura
87 YaguraRim
88 ShimeDaiko
89 ShimeRim
90 Atarigane
91 AtariganeM
92 AnaConga
93 AnaCowbell
94 AnaMaracas
95 AnaShaker1
96 AnaShaker2

E : Effect

| | | | | | | | | | |
|----|------------|----|------------|----|------------|----|------------|----|------------|
| 1 | StickHit1 | 15 | Noise 2 | 31 | Scratch4 | 47 | Glass | 63 | Boyon |
| 2 | StickHit2 | 16 | Pulse | 32 | Scratch5 | 48 | GunShot1 | 64 | Pl |
| 3 | FingerSnap | 17 | Zap | 33 | Scratch6 | 49 | GunShot2 | 65 | E.Bass |
| 4 | E.Clap1 | 18 | MetrBell 1 | 34 | Scratch7 | 50 | Bomb | 66 | SlapBass |
| 5 | E.Clap2 | 19 | MetrBell 2 | 35 | OrchHit1 | 51 | ResoNzClap | 67 | Turntable* |
| 6 | E.Clap3 | 20 | Click1 | 36 | OrchHit2 | 52 | Strike | 68 | Train* |
| 7 | NoiseHit | 21 | Click2 | 37 | R&BHit1 | 53 | AmbientCym | 69 | Helicopt* |
| 8 | Metal1 | 22 | Vo Go! | 38 | R&BHit2 | 54 | SFXCymbal1 | 70 | Applause* |
| 9 | Metal2 | 23 | Vo Hoo! | 39 | BrassHit | 55 | SFXCymbal2 | 71 | Police* |
| 10 | Metal3 | 24 | Vo Yoo! | 40 | ScratchHit | 56 | SFXCymbal3 | 72 | Ring* |
| 11 | AmbShot | 25 | Vo Ha! | 41 | Industry | 57 | NzAmbient | 73 | FX Pad* |
| 12 | Tunnel | 26 | Vo Uh! | 42 | CompuVoice | 58 | LoDroneAmb | 74 | Didgerido* |
| 13 | HiQ | 27 | Vo aYeah! | 43 | Radio | 59 | NzEcho | 75 | VinylMan* |
| 14 | Noise 1 | 28 | Scratch1 | 44 | Thunder | 60 | Vel-Decay1 | | |
| | | 29 | Scratch2 | 45 | Tire | 61 | Vel-Decay2 | | |
| | | 30 | Scratch3 | 46 | Crash | 62 | DlyScratch | | |

* ループ音

プリセットドラムキットリスト

| Kit No. | Kit Name | Kit No. | Kit Name | Kit No. | Kit Name | Kit No. | Kit Name |
|---------|--------------|---------|--------------|---------|--------------|---------|--------------|
| 1 | Oak Custom | 14 | T8 Kit | 27 | Matsuri | 40 | WikkidPocket |
| 2 | Maple Custom | 15 | T9 Kit | 28 | AsianGypsy | 41 | Reggae Kit |
| 3 | Beech Custom | 16 | D'n'B Kit | 29 | Elec.Classic | 42 | BrokenFunk |
| 4 | Rock Kit | 17 | Nu Electro | 30 | Hey DJ! | 43 | GoGo1988 |
| 5 | Gate Kit | 18 | Perc. Kit | 31 | VOX Kit | 44 | Re-0 |
| 6 | HipHop Kit | 19 | Social Cuban | 32 | Vintage Kit | 45 | Elec 5/4 |
| 7 | Synth Drums | 20 | SFX Kit | 33 | Room Kit | 46 | Backbone |
| 8 | Street Beat | 21 | Funky Men | 34 | Afro Kit | 47 | Groovin' |
| 9 | Brazil Kit | 22 | Power Kit | 35 | Latin Club | 48 | 8/8 Craze |
| 10 | Sm Kit | 23 | Reso Kit | 36 | Drum Corps | 49 | Bs.@Base |
| 11 | Studio Kit | 24 | Phase Drum | 37 | Orchestra | 50 | GM Standard |
| 12 | Dry Beat | 25 | Jazz Kit | 38 | Dubstep | | |
| 13 | SessionMastr | 26 | Brush Kit | 39 | R&B Cool | | |

プリセットソングリスト

| No. | ジャンル | Name | No. | ジャンル | Name | No. | ジャンル | Name |
|-----|---------|-----------|-----|------------|----------|-----|-------------|----------|
| 1 | Demo | Demo 1 | 22 | Dance | Dance 1 | 43 | Second Line | 2ndLine |
| 2 | | Demo 2 | 23 | | Dance 2 | 44 | Ska | Ska |
| 3 | | Demo 3 | 24 | Pops | Pops 1 | 45 | Pad Song | 8Craze A |
| 4 | Rock | Rock 1 | 25 | | Pops 2 | 46 | | 8Craze B |
| 5 | | Rock 2 | 26 | Pop Rock | PopRock1 | 47 | | BassGrv |
| 6 | | Rock 3 | 27 | | PopRock2 | 48 | | HornGrv |
| 7 | | Rock 4 | 28 | Jazz | Jazz 1 | 49 | | BassRiff |
| 8 | | Rock 5 | 29 | | Jazz 2 | 50 | | PadBass |
| 9 | | Rock 6 | 30 | Bossa Nova | Bossa 1 | 51 | | GoGo Tp |
| 10 | Shuffle | Shuffle 1 | 31 | | Bossa 2 | 52 | | GoGo Br |
| 11 | | Shuffle 2 | 32 | Fusion | Fusion 1 | 53 | | GoGo Lp |
| 12 | | Shuffle 3 | 33 | | Fusion 2 | 54 | | Re-O |
| 13 | Funk | Funk 1 | 34 | Samba | Samba 1 | 55 | | BFunk A |
| 14 | | Funk 2 | 35 | | Samba 2 | 56 | | BFunk B |
| 15 | | Funk 3 | 36 | | Samba 3 | 57 | | BFunk C |
| 16 | Blues | Blues 1 | 37 | Latin | Latin 1 | 58 | | Elec5/4A |
| 17 | | Blues 2 | 38 | | Latin 2 | 59 | | Elec5/4B |
| 18 | Hip Hop | HipHop 1 | 39 | Reggae | Reggae | 60 | | Elec5/4C |
| 19 | | HipHop 2 | 40 | Soul | Soul | 61 | | Backb Ld |
| 20 | R&B | R&B 1 | 41 | Ballad | Ballad 1 | 62 | | Backb St |
| 21 | | R&B 2 | 42 | | Ballad 2 | 63 | | Backb Pf |

仕様

| | | |
|--------|-------------|--|
| 音源部 | 音源方式 | AWM2 |
| | 最大同時発音数 | 32音 |
| | ボイス数 | ドラム/パーカッション音色: 427種類 キーボード音色: 22種類 |
| | ドラムキット数 | プリセット: 50キット ユーザー: 20キット |
| | エフェクター | リバーブ x 19タイプ、マスター EQ |
| トリガー | トリガーセットアップ | プリセット: 7種類 ユーザー: 4種類 |
| | パッドコントローラー | スナッピー調節、チューニング、テンポ |
| | パッドファンクション | ドラムキットINC/DEC、クリックセットINC/DEC、テンポINC/DEC クリックON/OFF |
| | パッドソング | スタート/ストップ、チェイス、カットオフ 最大3曲同時再生可能 |
| シーケンサー | シーケンサー容量 | 約16,000音 |
| | 音符分解能 | 4分音符/96 |
| | レコーディング方式 | リアルタイムリプレース |
| | トラック数 | 1 |
| | ソング数 | デモソング: 3曲 練習曲: 41曲 パッドソング: 19曲 ユーザー: 20曲 |
| メトロノーム | テンポ | 30~300/分、タップテンポ機能 |
| | ビート | 1~9 |
| | タイミング | アクセント、4分音符、8分音符、16分音符、3連符 |
| | クリックサウンドセット | プリセット: 6種類 ユーザー: 1種類 |
| | クリックセット | 30種類 |
| | クリックタイマー | 0~600秒 (30秒間隔) |
| | 練習機能 | メジャーブレイク、グループチェック、リズムゲート |
| その他 | 操作子 | ボタン: DRUMKIT、CLICK、SONG▶/■、SHIFT、◀、▶、⏻ ON/OFF、SAVE/ENTER コントローラー: ボリューム、ジョグダイヤル |
| | ディスプレイ | 16文字×2行 バックライト付LCD、3桁 7セグメントLED、テンポ確認用LED×2 |
| | 接続端子 | トリガー入力 1、5、6、7(ステレオ標準フォーン端子L: トリガー、R: リムスイッチ) トリガー入力 2、3、4、8(ステレオ標準フォーン端子L: トリガー、R: トリガー) HI HAT CONTROL (ステレオ標準フォーン端子) OUTPUT L/MONO、R (標準フォーン端子) PHONES (ステレオ標準フォーン端子)、AUX IN (ステレオミニ端子) MIDI OUT、DC IN |
| | 消費電力 | 8.0W(DTX500)、13.0W(DTX500および電源アダプター) |
| | 寸法 | 252(W)×147(D)×52(H) mm |
| | 質量 | 898g |
| | 付属品 | 電源アダプター (PA-3C)、保証書、取扱説明書(本書) モジュールホルダー、モジュールホルダー止めネジ: 2本 |

* 製品の規格および仕様は、改良の際、予告なく変更する場合があります。

MIDIデータフォーマット

1. チャンネルメッセージ

以下のチャンネルメッセージは、ドラムトリガー機能のみから送信可能である。

シーケンサー機能においては、その他のメッセージも送信される。

1.1 キーオン/キーオフ

ノート範囲: 0-(C-2) - 127(G8)

ベロシティ範囲: 0 - 127

1.2 コントロールチェンジ

1.2.1 bank select MSB、LSB - 0、32
data=0 - 127

1.2.2 foot controller - 4 (10chのみ送信)

1.2.3 main volume - 7

1.2.4 pan - 10 (0 で左、127 で右)

1.3 プログラムチェンジ

2. システムエクスクルーシブメッセージ

2.1 パラメーターチェンジ

2.1.1 GM system ON

\$FO \$7E \$7F \$09 \$01 \$F7(16進数)

MIDI master tuningを除くすべてのデータの設定値をデフォルトに戻す。

3. システムリアルタイムメッセージ

3.1 timing clock

送信する。

3.2 start、stop

送信する。

3.3 active sensing

約300 msec以内の間隔で常にMIDI出力があるように送信する。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

消耗部品の例
ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点など

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。


それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りの修理品お持ち込み窓口へ本機をご持参ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

- ナビダイヤル  **0570-012-808**
(全国共通番号) ※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話、PHS、IP電話からは TEL 053-460-4830
- 受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:00、土曜日 9:00～17:00 (祝日およびセンター指定休日を除く)
- FAX 053-463-1127

◆ 修理品お持ち込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45 (祝日および弊社休業日を除く)
* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。


| | | |
|---------------|--|------------------|
| 北海道サービスステーション | 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内 | FAX 011-512-6109 |
| 首都圏サービスセンター | 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F | FAX 03-5762-2125 |
| 名古屋サービスセンター | 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F | FAX 052-652-0043 |
| 大阪サービスセンター | 〒564-0052 吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング2F | FAX 06-6330-5535 |
| 九州サービスステーション | 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4 | FAX 092-472-2137 |

* 名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

■ ユーザーサポートサービスのご案内

- 電子ドラムの機能や取り扱いについては、最寄りの特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口

- ナビダイヤル  **0570-013-808**
携帯電話、PHS、IP電話からは TEL 053-411-4744
- 営業時間：月曜日～金曜日 10:00～18:00、土曜日 10:00～17:00 (祝日およびセンター指定休日を除く)
- <http://www.yamaha.co.jp/support/>

● ご購入に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社

国内営業本部 EKB・LM営業部 営業推進室 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL (03) 5488-5445

PA・DMI事業部 DMIマーケティング部 DEグループ 〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

* 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ヤマハ株式会社

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
© 2010-2011 Yamaha Corporation

ヤマハ電子ドラム製品ウェブサイト:
<http://www.yamaha.co.jp/product/drum/ed/>

ヤマハマニュアルライブラリー:
<http://www.yamaha.co.jp/manual/>

110PO***-01C0
Printed in Vietnam

WU53710